



こうのとり通信

No.106

発行日：2021年4月9日

編集：広報委員会

<http://www.hacsw.or.jp/>

2020年度の基礎研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より遠隔で実施しました。関わったみなさんの感想を掲載します。

報告

基礎研修 I

報告者：受講生 酒井 崇明

オンライン研修で最も魅力だったのは、自宅等リラックスした環境で受講できたことです。私はスマホにヘッドホンを装着して受講したのですが、焦ったり集中力が切れたりすることなく、ゆったりとした気持ちで受講でき、聞き漏らしも少なかったのが非常に良かったです。特にグループワークにおいては、グループの皆さんのお顔を一画面で同時に見ながら議論を進めることができましたので、とても楽しかったです。物足りなかった点を挙げるとするならば、研修全体の雰囲気を感じることができなかったことでしょうか。それに関しては、新型コロナウイルスが落ち着き、集合研修が実施されたときの楽しみに取っておこうと思います。研修と引越しの時期が重なり通信環境が安定していなかったため、私はパソコンとスマホの両方を用意してオンライン研修に臨みました。結果、スマホの方が受講しやすかったのですが、事前にそうした確認を済ませておくと、当日よりスムーズに受講できたはずですので、そこが反省点だったかなと思います。

基礎研修 III

報告者：受講生 白矢真由実

基礎研修IIIを初めてZoom研修で受講しました。

なんといっても、メリットは移動しなくていいことです。交通費も時間も節約ができます。その反面、研修の内容の確認や振り返りをする仲間がいない一人での研修になることが寂しかったです。

今後は、オンライン研修や会議がもっと増えてくると思います。そのなかで、1年間Zoom研修を受けた私たちは、オンライン研修の先駆者になることができるのではないかと思います。

ファシリテーター

報告者：ファシリテーター 田脇 智子

2020年度のオンラインでの基礎研修にファシリテーターとして参加させて頂きました。Zoomって何？という状態から練習会に参加し、どうにか操作には慣れました。そして初日、会場内でのハウリング、突然パソコンがフリーズ、数人の受講生が画面から消えてしまう等々想定外のトラブルが発生。しかし回を重ねる毎に問題も解決し無事終了、貴重な経験となりました。挑戦して良かったです。今年度はファシリテーターの仲間が増えるといいなと思っています。

事務局

年度当初は集合研修の予定をしておりましたが、急遽オンラインで開催することになり、受講生や講師・ファシリテーターのみなさんには多大なご不便をおかけしました。手探りでのオンライン研修開催でしたので、不手際等々数え切れないほどあったと思います。集合研修とは異なる実施のため、演習では受講生のみなさんも何かと大変だったと思います。本当にお疲れ様でした。

今年度も基礎研修はオンラインにて開催予定です。今後も引き続きお力添えいただければ有り難いです。よろしくお願い致します。

目次

【報告】

● オンライン研修を受講して（基礎研修Ⅰ・Ⅲ）	1
● オンライン研修を経験して（ファシリテーター・事務局）	1
● 第17回社会福祉士養成校とのオンライン連絡会	3
● スーパービジョンⅡ研修（オンライン）	3
● フォレンジック・ソーシャルワーク研修（オンライン）	4
● 西はりまブロックオンライン交流会	4
● 未成年後見研修（実践編）（オンライン）	5
● 何でも話そう座談会！（オンライン）	5
● 実践研究を学ぶ研修&発表会（オンライン）	6
● 防災と福祉の連携促進シンポジウム（オンライン）	7
● SSWスキルアップ研修（オンライン）	8

【ブロックインフォメーション】

● 阪神ブロック	8
● 神戸ブロック	9
● 西はりまブロック	9
● 丹波ブロック	10

【委員会だより】

◆ 国家試験対策委員会	10
◆ 広報委員会	11
◆ 相談委員会	11
◆ ぱあとなあ兵庫	12
◆ 実習教育支援委員会	12
◆ 地域移行支援委員会	13
◆ 災害支援委員会	13
◆ 「コロナなんかぶっ飛ばせ企画 みなさんのおすすめを教えてください！」	14
● Team-G 51号	20
● 兵庫県社会福祉士会費引落についてのお知らせ	22

【研修案内等】

◆ オンライン研修の受講方法・注意事項	23
◆ 2021年度 【Zoom】基礎研修Ⅰ	27
◆ 2021年度 【Zoom】基礎研修Ⅱ	29
◆ 2021年度 【Zoom】基礎研修Ⅲ	32
◆ 2021.5.22～ 【Zoom】ソーシャルワークアカデミー	35
◆ 2021.5.22 【Zoom】実践研究について学ぶ研修	36
◆ 2021.5.23～ 【Zoom・会場】SSWスキルアップ研修	38
◆ 2021.5.29～ 【会場】2021年度災害支援活動者養成研修	40
◆ 2021.5.30 【Zoom】なぜ、精神科医療現場等で虐待が起こるのか ～神出病院の虐待事案から考える～	42
◆ 2021.5.30 【Zoom・会場】阪神ブロック総会	43
◆ 2021.7.11 【Zoom・会場】ヨガ療法体験講座	45
◆ 2021.7.17 【Zoom】独立型社会福祉士実践報告会 独立型社会福祉士支援委員会メールマガジン登録の案内	46
◆ 2021.7.24～ 【Zoom・会場】スクールソーシャルワーカー養成研修	47
◆ 2021.8.1～ 【会場】2021年度成年後見人材育成研修	49
◆ 昔の写真募集	53
◆ 会員紹介キャンペーン	54
◆ 兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画	56
◆ 委員会見学申込書	65
◆ 研修会申込書 統一フォーマット	66
◆ 会員情報変更届	67
◆ 事務局情報	68

第17回社会福祉士養成校との連絡会（オンライン）

報告者：実習教育支援委員会

開催日 2020年12月17日 参加者数 20名

【研修・イベント概要】

毎年、社会福祉士養成校の教員の方々と連絡会を開催しており、今回で17回目となりました。職能団体である社会福祉士会の会員と養成校の教員の方々と、実習教育に関して情報交換を行う貴重な機会となっております。

【所感等】

例年三宮で開催していた「養成校連絡会」ですが、今回は初めてオンラインで開催し20名が参加しました。2020年度のソーシャルワーク実習はコロナ禍での実施という事もあり、養成校の教員の皆様方は大変ご苦勞をされたと伺いました。そして、コロナ禍でも実習生の受け入れをして下さった実習施設等の皆様にはとても感謝しているとも伺いました。

2020年度の養成校連絡会では、2019年度の優秀実習先表彰を受賞された明石市社会福祉協議会から3名の実習指導者の方々にご参加いただきました。組織として実習生を受け入れる体制や、それによりもたらされる効果などについて発表していただきました。とても実りある連絡会となりました。

スーパービジョンⅡ研修（オンライン）

報告者：岡本和久

開催日 2021年1月9～10日 参加者数 28名
 講師 田村満子氏（大阪社会福祉士会）、岡田まり氏（京都社会福祉士会）、
 中田雅章氏（岡山県社会福祉士会）

【研修・イベント概要】

スーパービジョンⅡ研修を初開催し、全国から28名の方にご参加いただきました。本研修は、日本社会福祉士会方式によるスーパービジョンを学び、これからの実践に生かすとともに、職場等でスーパーバイザーを担う方々のスキルアップを目指す研修です。

【所感等】

新型コロナの影響で集合研修から急遽、オンライン研修に切り替えとなりましたが、グループワークを工夫して開催しました。私たちはコロナの感染拡大に負けず、学びをとめず、実践の向上を目指していきましょう。



講師・ファシリテーターの様子

報告

フォレンジック・ソーシャルワーク研修（オンライン）

報告者：更生支援委員会 深田祐加子

開催日 2021年1月31日 **参加者数** 29名
講師 原田和明氏（更生支援委員会 委員長）、岡村恵子氏（更生支援委員会 副委員長）、佐藤寛士氏（更生支援委員会 副委員長）

【研修・イベント概要】

はじめに、困難事例から刑事司法ソーシャルワーク実践を講義形式で学びました。罪を犯すことを生活のニーズと捉えた上でアセスメントを行うこと、罪を犯さない生活が当たり前で心地よいと感じられるように環境を整えていくことが、福祉の役割であると学習しました。

その後、グループごとに行った事例検討では、分析用ワークシートを使用し、社会（就労・家族関係）、健康（医療）、経済（金銭）、その他の状況に分類し見立てを考えました。

【所感等】

研修で印象に残っているのは、「福祉の支援は、『再犯しない』という自己決定をすることを支援すること」という言葉です。我々、対人援助職は、生活課題や特性に焦点を当て分析し、本人の強みを把握することが大切です。演習を通じて、アセスメント・見立てをしっかりとすることの重要性を再認識しました。

今回初めて主催者側として参加し、研修開催にあたり大勢の方にご尽力いただき嬉しく思っています。

報告

西はりまブロック オンライン交流会

報告者：西はりまブロック

開催日 2021年1月31日 **参加者数** 16名

【研修・イベント概要】

西はりまブロックオンライン交流会を1月31日に開催しました。高齢、障害、スクールソーシャルワーカーなど多種多様な方々が参加され活発な意見交換が行われました。今後も定期的開催しますので皆様お気軽にご参加ください。

未成年後見研修 実践編（オンライン）

報告者：岡本和久

開催日 2021年2月6日 **参加者数** 50名
講師 島山 充氏（岩手県社会福祉士会）、稲嶺裕子氏（茨城県社会福祉士会）

【研修・イベント概要】

未成年後見を実践されているばあとなあ会員の方に、それぞれ県から事例を出していただき、未成年後見の実際と課題、そして、やりがいについてお話をいただきました。

未成年後見は、成年後見との法的な違いや親権同等の権利と義務、未成年の成長課題、自立への支援について、より深い知識やネットワークが必要になります。しかし、一人の子どもの人生に寄り添い、子どもの自立していく姿をみることは、何物にも変えがたい喜びがあるとお話でした。

【所感等】

児童養護施設には様々な理由で入所している子どもたちがいます。未成年後見人は、一人ひとりの子どもを尊重し、子どもにとって安心できる大人として関わっていることを伺いました。その中で、子どもたちは大人との信頼関係を築き、将来への希望と成長する勇気を得て、自立していく力を育むのだと感じました。

私たち社会福祉士は、未来の社会を子どもたちのために、寄り添えるソーシャルワーカーとして支援していきたいと思えます。

何でも話そう座談会！（オンライン）

報告者：相談委員会

開催日 2021年2月13日 **参加者数** 15名
話題提供者 橋爪太郎、宮崎正行、刀根充、中尾荘子、鈴木美帆、上野公子

【研修・イベント概要】

相談業務の悩み・不安のあれこれ、専門職ならではの経験などを数人が発表し、発表者同士で意見交換し経験値を共有する。傍聴の参加者も質問や意見交換に参加し、「目からうろこ」を体験する。働く分野が同じでも異なっても、共通するジレンマ・不安、あるいは達成感があることを共有する機会とし、参加者同士の交流を深め人材育成も視野に入れている。

【所感等】

参加者感想の抜粋です。

「話題が多方面に拡がり」「経験の浅い社会福祉士の不安、経験の長い社会福祉士のジレンマなどの思いを共有できた」「社会福祉士としての明るい未来が見え、不安が吹き飛ば座談会で感激だった」

実践研究を学ぶ研修&発表会（オンライン）

報告者：高岡美津子

開催日 2021年2月14日 参加者数 13名
 講師 高橋昌子氏

【研修・イベント概要】

まず、神戸親和女子大学 高橋 昌子先生より、私たち社会福祉士の実践を研究に繋げる意義・効果・方法をご講義いただきました。

次に、本会会員3名による実践研究を発表していただき、参加者には研究発表の実際に触れていただきました。

最後に、6月に会員の皆様にご協力いただいた「新型コロナウイルス感染症によるパンデミックにおける社会福祉士の活動に関するアンケート調査」について、調査研究委員会より報告をいたしました。

【所感等】

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下、オンラインという形で実施された研修会でしたが、私にとってはとても実りあるものになりました。長年実践現場に居ながら日々の忙しさに追われ、いつの間にか誰かに指摘されることも、自らふり返り、見直しをする機会も遠ざかっていたように思います。改めて、自分の実践していることを文章にしようとしてみると、自分にしかわからない方法論ばかりが連ねられ、その根拠となる理論が欠けていることが多く、他者に伝えていくことの難しさを実感させられました。実践研究発表では、専門職ごとの視点から語られる現場の声とあるべき姿を見せられ、多職種連携による支援の必要性について考えさせられました。私も発表された方々を見習い、機会があれば実践報告に取り組むことでスキルアップし、地域の福祉向上に繋がっていきたいと思います。ありがとうございました。



防災と福祉の連携促進シンポジウム（オンライン） 地域で取り組む 高齢者・障害者の避難支援

報告者：防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業
実行委員会（兵庫県・兵庫県社会福祉士会・人と防
災未来センター）

開催日 2021年2月16日

参加者数 Zoomでの視聴 約180名 YouTubeでの視聴 約250名

【研修・イベント概要】

近年豪雨災害をはじめとする大規模災害が頻発しており、そのたびに高齢者や障害者が犠牲となっています。逃げ遅れることなく円滑な避難のためには、当事者、行政、地域住民、福祉専門職等が密接に連携し、実効性のある避難のための個別支援計画の作成が重要です。兵庫県では、ケアマネジャーや相談支援専門員などの協力を得て、平常時のケアプランやサービス等利用計画の作成に合わせ、地域とともに「防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業」を実施しています。今回のシンポジウムでは、その成果及び今後の取組について意見を交わしました。

○基調講演 「誰一人取り残さない防災の実現に向けて」

同志社大学社会学部教授／人と防災未来センター上級研究員 立木 茂雄 氏

○特別講演 「障害当事者、そして相談支援専門員としての『防災』」

一般社団法人兵庫県相談支援 ネットワーク代表理事 玉木 幸則 氏

○取組報告 防災と福祉の連携による事業の成果と課題

福崎町健康福祉課主査 林 知澄 氏

明石市福祉総務課係長 光永 貴 氏

○パネルディスカッション

個別支援計画の作成をいかに進めていくか～防災と福祉の連携を通じて～

同志社大学社会学部教授／人と防災未来センター上級研究員 立木 茂雄 氏

一般社団法人兵庫県相談支援 ネットワーク代表理事 玉木 幸則 氏

内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官（避難生活担当） 重永 将志 氏

丹波篠山市長寿福祉課副課長 松本ゆかり 氏

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講師や報告者等の関係者のみが会場に参集し、Zoom及びYouTubeを使用してのオンライン配信にて開催しました。そのため、近畿圏内だけではなく北は北海道から南は熊本まで、また行政関係、福祉関係、報道関係、大学、各団体等の幅広い層の申込みがありました。

防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業に関する取り組み及び当該シンポジウムの内容については、別途報告書を作成予定です。報告書が完成しましたら兵庫県防災企画課のホームページに掲載予定ですので、またご確認ください。

また「ひょうごチャンネル（YouTube）」にて当日の様子をご覧ください。

報告者：こども家庭支援委員会

開催日 2021年2月21日

講師 馬場幸子氏

【研修・イベント概要】

4回シリーズの最終回であった今回は、スクールソーシャルワーク（SSW）「スタンダード」の学びをさらに深め、これまでのSSWとしての活動の振り返りを行いました。

前半の講義では、講師より、日本学校ソーシャルワーク学会が行ったアンケート調査の結果から、新型コロナウイルスの影響を受けた子ども達の生活およびSSW活動について伺いました。また、アンケート結果を踏まえ、SSWの活動等における課題について考えることができました。

その後、個人、グループワークでは、これまでの取り組みを「スタンダード」に照らし合わせ、様々な角度から課題をとらえ、課題を把握し今後の目標を考えました。

【所感等】

兵庫県教育委員会義務教育課のSSW事業担当の先生にもご参加いただき、兵庫県の各市町SSWはもちろん、教育事務所SSW、広島県や関東地方等全国からSSWや教員、こどもの支援に携わるたくさんの方々にご参加いただきました。

グループディスカッションではいろいろな意見交換をしながら学びあい、「この研修が日々の実践の支えになっていた」「自身の実践を振り返る機会になったのがよかった」「参加してよかった」等の発表もありました。

4回シリーズでやってきたこの研修。昨日が最終回の4回目でした。

本当は集合研修としたかったところですが、オンラインでも最後までやってきて本当に良かったなと思いました。

受講者の皆様のご意見に、また次の研修の企画運営のモチベーションをいただきました。また来年度も実施します。

ブ**ロックインフォメーション ①****阪神ブロック（ブロック長 中原 克子）****【1月30日に新年会開催！】**

Zoomにて、阪神ブロック主催にて新年会を開催しました。阪神ブロックの会員だけでなく他ブロックの会員も参加され、総勢28名にて大変盛り上がりました。

ただ単に集まるのではなく、小グループに分かれて会員同士の交流を行ったり、オンラインでのビンゴ大会を開催しました。QUOカードや兵之助のファイルなどの景品をゲットすべく、熱い戦いが繰り広げられました。

<ブロックについて>

本来、当ブロックでは2か月に1回役員会を開催するとともに、地域部会の活動を中心に、会員の交流や学習の場所作りを推進していましたが、現在、新型コロナの影響で外出自粛や集合を避ける必要があることから、ブロック活動に影響が生じています。今後の動向をみながらオンラインを活用するなど、ブロック活動を徐々に再開させていく予定です。

【阪神ブロックのメーリングリスト登録のお願い】

阪神ブロックの方で、当ブロックのメーリングリスト登録をしていないかたは、担当者宛にメールを送信し、アドレス登録をお願いいたします。

【阪神ブロック問い合わせ・メーリングリスト申し込み先】

sw_hanshin@yahoo.co.jp

神戸ブロック (ブロック長 増山 陽子)

春光うらかな季節を迎えましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今年度も会員相互のネットワークの構築を図り、コロナ禍に対応した活動を可能な限り進めてまいりますので、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。さて、神戸ブロックの活動と今後の予定などをお知らせいたします。

【活動報告】

2020年12月5日 神戸ブロック忘年会

新型コロナウイルス感染症防止対策として、オンラインでの忘年会開催となりました。

併せて臨時役員会を実施し、主に福祉セミナーについて話し合いました。

2021年2月27日 トークイベント「兵庫県社会福祉士会新旧会長 社会福祉士を語る」

こちらも新型コロナウイルス感染症防止対策として、オンラインでの会開催となりました。

今年度、新会長となられた谷口弘氏、3期6年にわたって会長を務められた岡本和久氏のおふたりをお迎えし、今までの、そしてこれからの兵庫県社会福祉士会を熱く語って頂きました。

【活動予定】

6月12日(土) 総会(オンライン開催)

10月23日(土) 福祉セミナー IN神戸 於: しあわせの村 研修館(神戸市北区)(予定)

【お知らせ】

- Facebookあります。検索: 兵庫県社会福祉士会神戸ブロック
- 神戸ブロックのメーリングリストへのメールアドレスは下記の通りです。

kobe.block.fukushishikai@gmail.com

西はりまブロック (ブロック長 岸 剛健)

【活動内容】

西はりまブロックでは15名の役員が在籍しています。役員会は不定期ですが、Zoomを使用して開催しています。定期的な会員交流の場としてZoomを使用した交流会を開催しております。兵庫県社会福祉士会ホームページに案内を掲載しておりますので、お気軽にご参加下さい。

当ブロックは、姫路市を中心として相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、上郡町、太子町、佐用町、市川町、神河町、福崎町のエリアで活動を行っています。会員の協力のもとブロック主催の研修会の開催や地区別勉強会、懇親会など、ブロック内外を問わず、多くの会員が地域で地道な活動を展開しています。ブロック活動は、兵庫県社会福祉士会の窓口であり、地域に根差した取り組みを今後とも行っていきます。西はりま地区ブロック Facebook も一度のぞいてみて下さい。

【今後の予定】

5月16日(日) 西はりまブロック総会 Zoom開催

丹波ブロック（ブロック長 中川 優一）

新年度を迎えまして、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に気を配りながらのスタートとなっていることと思います。また、そのような中、社会福祉士に合格された皆様には敬意を申し上げます。

丹波ブロックでは状況を見ながら、従来の対面での会員同士の交流や研修の実施とともに、オンラインを活用した取り組みも進めていきたいと考えております。

今後とも、みなさまのブロック活動へのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

【活動報告】

1月16日 役員会（オンライン）

…ブロック研修会・交流会の企画

2月20日 役員会（オンライン）

…ブロック研修会・交流会の準備、Zoom勉強会

2月27日 ブロック研修会・交流会（オンライン）

…丹波ブロックでオンラインによる研修・交流を初めて実施しました。詳細は次回にて報告します。

【活動予定】

5月頃 ブロック定期総会

…定期総会に向けて準備を進めています。日程が決まりましたら、ご案内いたします。

【お知らせ】

●丹波ブロック会員のみなさまのメールアドレスをお知らせください。

ブロック活動における情報発信や各種研修等の取りまとめを円滑に行うことを目的に、ブロック会員のみなさまへメールアドレスの把握を行っています。題名に「丹波ブロック会員」、本文に「氏名（ふりがな）」、「所属団体」をご記入のうえ、下記のメールアドレス（直接入力またはQRコードから）へ送信してください。受信後、数日以内に手動返信メールが届きますので、迷惑メール拒否設定等をされている場合は、設定の変更をお願いします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

hacsw.tanba@gmail.com



国家試験対策委員会

委員長 樹下和幸

2020年度は毎年の応援を自粛しました。しかし、感染症対策バッチリで解答速報を国試委員会の委員で作成しました。社会福祉士会が解答速報を出すという社会的意義を達成するためにこれからもがんばります！！

委員会 ② だより

広報委員会

委員長 森保純子

<活動内容>

当委員会は、会員機関紙「このとり通信」及び広報誌「Pocket」の企画・編集の他、SNSやその他さまざまな媒体・機会を通じて、社会福祉士と社会福祉士会の広報を行っています。委員の予定に合わせて委員会開催日を設定しているため、固定した開催日はありませんが、ほぼ毎月委員会を開催し、広報活動を行っています。

会員の皆様は日々様々に社会福祉士としての活動をされていると思いますが、それをどのように社会へ繋げていらっしゃるでしょうか？私たちの機関誌や広報誌は、会員一人ひとりの活動を繋ぎ、表現し、多くの専門職や県民の皆様へ伝えていく手段です。私たちの取り組みを、よりよい社会を作る一歩とするために活用できるツールです。それは、会員の皆様によって作られるものであり、当委員会ではそれらをカタチにする活動をしています。当委員会には古より『広報委員会に所属して

いなくとも、社会福祉士である一人ひとりが「社会福祉士の」広報委員』という格言があります。すべての会員の皆様には、今年度も様々な形で広報活動への参加と関わりをお願いいたします。

当委員会では、文章の書き方、校正の仕方、紙面の作り方など実務に役立つことをはじめ、取材方法や広報戦略や企画の考案、SNSを活用した広報活動の検討などを経験し学ぶ機会がふんだんにあります。「表現すること」「書くこと」「作ること」「伝えること」「記録すること」に興味や関心がある方には、ぴったりの委員会です。

<定例会 会場>

兵庫県福祉センター 社会福祉士会事務局
または オンライン

<今後の予定>

委員会は概ねつき1回のか開催ですが日時は不定です。まずは事務局までご一報ください。

委員会 ③ だより

相談委員会

委員長 大庭絵里

<活動内容>

相談委員会では毎月第2土曜日午後1時から4時まで、事務局にて「福祉何でも相談」を実施しています。また隔月で定例委員会を開催し、相談業務に必要な各分野の新しい情報や困難ケースなどについての勉強会を開催しています。勉強会前後の時間に自分の相談業務の相談をしあい、解決のヒントをもらうなどもしています。

昨年度から相談業務の困難や醍醐味のあれ

これを話し合う経験交流会「何でも話そう座談会」を開催しています。各分野からの参加者が自分が対応した「どないせえ言うねん。」「勘弁して…」「どや！」な事例を持ち寄り語り合います。傍聴のみもOKです。

<定例会 会場>

社会福祉士会事務局

委員会 ④ だより

ばあとなあ兵庫

委員長 魚住剛

<活動内容>

「権利擁護センター ばあとなあ」は、公益社団法人日本社会福祉士会ならびに、各都道府県社会福祉士会が運営しています。各都道府県社会福祉士会の「ばあとなあ」では、所定の成年後見人材育成研修・名簿登録研修を修了した本会会員を成年後見人等の候補者として登録しています。その上で、神戸家庭裁判所各支部から依頼される成年後見人等の候補者を推薦しています。また、本会に問合せされた成年後見制度利用の相談支援の活動もしています。

委員会・会員数（ばあとなあ名簿登録者）は488名、内運営委員40名で委員会活動を行っています。

兵庫県域において、成年後見制度の利用促進を契機として、権利擁護の推進が図られる

よう、市町域における共通の課題の解決や、推進方策を検討することを目的として、兵庫県地域福祉課・神戸家庭裁判所・兵庫県社会福祉協議会・弁護士会・司法書士会などと協議を重ねています。

各市町で運営されている成年後見センターにも専門職団体として委員の派遣をしています。

<定例会 会場>

月に1度、運営委員会を福祉センター（又は、Zoom）で開催。

<今後の予定>

「成年後見人材育成研修」「名簿登録研修」「基本実務研修」の実施
「ばあとなあエリア別登録者研修会」の実施

委員会 ⑤ だより

実習教育支援委員会

委員長 岸剛健

<活動内容>

10名程度の委員のメンバーで、実習指導者講習会や、実習教育支援者研修などの企画について打ち合わせを行っています。

社会福祉士養成校との連絡会を、年に1回開催し、情報交換を行っています。

実習指導に興味のある方のご参加をお待ちしております。

当委員会は、社会福祉士取得を目指しているみなさまに、「相談援助実習」からの学びをより実践的に深めるサポートをしています。また、実習受け入れ施設・機関の実習指導者である社会福祉士への講習なども定期開催しています。これからも、社会福祉士に興味を持つみなさまとの交流を積極展開してい

こうと考えています。

<今後の予定>

定例委員会 不定期木曜日夕方（Zoomにて開催）

実習教育支援者研修 7月6日（火）

実習指導者講習会 11月27日（土）28日（日）

定員60名

養成校連絡会 12月16日（木）

委員会 ⑥
だより

地域移行支援委員会

委員長 清原幸代

当委員会は、地域移行支援をテーマに、退院支援員への支援会議や学習会を開催しています。

支援会議は、奇数月の第4木曜日の19時から、県福祉センターにて開催しています。

ぜひ、地域移行支援の経験がある方やご関心がある方は、各種研修への参加とともに、委員会へのご参加・ご見学をお待ちしています。(委員会への見学は事務局までご連絡ください)

<各種研修への参加・協力>

なぜ、精神科医療等の現場で虐待事案が起こるのか 5月30日(日) オンライン研修

<定例委員会>

奇数月の第3木曜日(19時~21時)
次回以降 5月27日(木)、7月22日(木)、9月30日(木)

※新型コロナウイルスの感染状況等により、オンライン形式または集合形式となります。

委員会 ⑦
だより

災害支援委員会

委員長 岡本和久

災害支援委員会は、県内外の自然災害等に対し、職能団体としてソーシャルワークを生かした専門的な支援を行うため、近畿ブロック共催事業として、「災害支援活動者養成研修(認証研修)」および「福祉専門職対象防災対応力向上研修(県委託)」等への協力をを行い、災害支援を行える人材の育成に取り組んでいます。また、災害発生に備えて、2か月に1回の定例委員会を開催し、災害支援者登録制度の検討や災害支援のマニュアルの策定等を進めています。

ぜひ、災害支援の経験がある方や災害支援に関心がある方は、各種研修への参加とともに、委員会へのご参加・ご見学をお待ちしています。(委員会への見学は事務局までご連絡ください)

<各種研修への参加・協力>

災害支援活動者養成研修(認証研修) 5月29日(土)~30日(日) / 大阪(予定)
福祉専門職対象防災対応力向上研修(県委託) / 未定

<定例委員会>

偶数月の第1火曜日(19時~21時)
次回以降 4月6日(火)、6月1日(火)、8月3日(火)

※新型コロナウイルスの感染状況等により、オンライン形式または集合形式となります。

コロナなんかぶっ飛ばせ企画

みなさんのおすすめを教えてください！

会員のみなさまから、おすすめの本・映画・グルメ（レシピ・お店）・文房具などの紹介をしていただく「コロナなんかぶっ飛ばせ！私のイチ推し！」がスタートしました。

ふるっての投稿をお待ちしております！

下記のQRコードを読み取って、Webで投稿をお願いします！



【本・映画】



【レシピ】



【レストラン等】



【文房具などのグッズ】

□ おすすめ本

ペンネーム： かかさん

- タイトル 読む力は生きる力
- 著者名 脇 明子
- ページ数 196
- 本の種類 文庫
- 発行年 2005年
- 出版社 岩波書店
- 概要 なぜ本を読む必要があるのか？という素朴な疑問に対して、分かりやすく論じています。



★ おすすめポイント ★

インターネットで流し読みをすることと、何が違うのか。

本を読まなくても、生活することに支障をきたさないのに、活字離れが危機的に叫ばれているのはなぜなのか。

言葉の持つ力を重んじている対人援助職の方々も、なるほど！と思わず納得してしまうと思います。

□ おすすめのレシピ

ペンネーム： 黒猫まあり

- 料理名 レタスマるごと 1個サラダ
- 出来上がりの目安 (4人分)
- 材料・分量 レタス1個
ゴマ油 大さじ1
鶏ガラスープ顆粒 大さじ1

★作り方★

レタス1個をやや大きめにちぎる
水であらう
フキンなどで水分を拭く
ゴマ油、鶏ガラスープ顆粒をまぜる
チャック付袋、あるいはプラスチック容器に入れ冷蔵庫へ
少ししんなりしたら食べられます

★コツやポイント★

レタスの水分は切る
鶏ガラスープ顆粒は少なく
みえますが、案外からい
でかけ過ぎ注意

□ おすすめのレシピ

ペンネーム： 森のすずの社会福祉士

- 料理名 私にも作れる『ピェンロー』
- 紹介文 白菜を大量に消費でき、簡単、
もちろん美味しい、鍋料理。
確か私が中国語と中国に関心が
あった頃、中国好きの友人が教
えてくれた鍋料理。
- 出来上がりの目安 (2~4人分)
- 材料・分量 干し椎茸 多めに適当
白菜 半玉から1玉 (煮込めば
量は減るから豪快に用意)
鳥もも肉 鶏好きなら多めに
豚バラ肉 豚好きなら多めに
春雨 マロニーでもいい 好き
なだけ
ごま油 ほどよく

(付け出汁用)
塩 美味しい塩がいい
唐辛子の粉 ほどよく

★コツやポイント★

食べる時は、取り椀にまず、塩と唐辛子を好みの量いれて、鍋の汁で割る。この時、塩は濃いめが美味しい。(塩分取りすぎには各自で注意) そのつけ汁につけながら、鍋の具材を食べる。

ごま油の入れすぎに注意!

★作り方★

- ①干し椎茸は水で戻す。戻した水は、出汁として鍋で使うから、捨てないで! もちろん、椎茸も具材になるから捨てないで。
- ②戻した椎茸、白菜、鶏肉、豚肉を食べやすく切る。白菜の茎と葉は切り方を変える。葉は大きくていいが、茎は縦に細長くきるのがおすすめ。
- ③椎茸の戻し汁、椎茸、白菜の茎を鍋で煮る。
- ④鍋に、鶏肉と豚肉と白菜の葉の部分を加えて、さらに煮る。白菜がトロトロになるまで煮る。
- ⑤春雨を加える。(春雨の使い方を見て、水に戻す場合はそうしておく)
- ⑥ごま油を加える。量は鍋の大きさと好みにもよるが、カレースプーンに1~2杯あたり。
出来上がり!

□ おすすめのお店

ペンネーム： 満腹次郎

- 店名 『アル リコルド (AL RICORDO)』
- 住所 神戸市中央区 中山手通 7 丁目 20 番 12 号 泰平ビル 1F
- 電話番号 078-371-1200
- 営業時間 事前に店舗にご確認をお願いします。
- 定休日 ランチは日曜日

★おすすめメニュー★ ランチメニューの Pasta

★レビュー★

兵庫県福祉人材研修センターから南に 1 分。

私は、研修の際に利用することが多いです。

店主は、芦屋の有名店で修業されたのちに 2010 年からこの地で営業されています。

お若い方で、細やかな気配りが嬉しいです。

ランチは Pasta やご飯ものです。

本日は、キーマカレー or ロコモコ丼 or 小海老と小松菜のトマトソース Pasta。それにフレッシュサラダとパン・コーヒーで 1050 円。

Pasta を選びました。もっちりとして小麦の香りがとても good。トマトソースも酸味と塩味のバランスがよかったです。

実は昨日食べた、エリンギとベーコンのクリーム Pasta も仕事が丁寧で good でした。

是非一度立ち寄ってみてください。

メーリングリストのお知らせ

研修やイベント等の開催にあたり、台風等の自然災害により開催日時が変更になる場合があります。緊急のお知らせは「ひよこメーリングリスト」で発信しますので、登録しご確認できるよう、宜しくお願いいたします。

【メーリングリストに登録して便利なこと】

- メーリングリストに登録している全会員に対して、一斉に且つタイムリーに研修や職員募集等の情報を配信できます。
- このとり通信への記事掲載が間に合わないなど、一部の情報はメーリングリストでしか配信されないものもあります。
- 災害時においては、会員の安否確認や被害状況の共有もできます。

【メーリングリスト利用の注意点】

- ご登録いただいているメールアドレスへの配信が何らかの理由で5回エラーが記録されるとシステム上、自動的に登録解除となります。
- 他者への誹謗中傷、公序良俗に反するものでなければ情報配信いただけますが、メーリングリストは情報共有がメインとなるためディスカッションの場として活用することをご遠慮ください。また、メーリングリストへの投稿がふさわしい内容か配信前に今一度ご確認ください。
- メーリングリストには携帯電話のアドレスで登録している方もいるため、早朝・深夜の時間帯はなるべくお控えください。

【ひよこメーリングリスト登録方法】



1. 「兵庫県社会福祉士会」のホームページにアクセスします。

URL : <http://www.hacsw.or.jp/>

※ スマートフォンからもアクセスできます。

QR コードはこちら ⇒



2. 「メーリングリスト登録フォーム」のボタンをクリックします。

3. 登録申込フォームが開くので、会員番号・氏名等の必要事項を記入し、「送信内容を確認する」ボタンをクリックします。

4. 入力内容を確認し、間違いがなければ「送信」ボタンをクリックします。

※事務局で会員確認した上での登録となりますので、即日登録できないことをご了承ください。

■ 委員会責任者名

Committee person in charge

研修委員会	石田香緒里	こども家庭支援委員会	福井 良江
調査研究委員会	富田 洋介	実習教育支援委員会	岸 剛健
国家試験対策委員会	樹下 和幸	独立型社会福祉士支援委員会	村上 弘幸
広報委員会	森保 純子	障がい福祉委員会	大塚真由美
相談委員会	大庭 絵里	更生支援委員会	原田 和明
ソーシャルワーク研究委員会	真利 敦子	地域移行支援委員会	清原 幸代
高齢者・障害者虐待対応委員会	田島 啓子	生活困窮者支援委員会	谷口 智昭
ばあとなあ兵庫	兎住 剛	災害支援委員会	岡本 和久
地域包括支援センター支援委員会	山内 賢治		

委員会活動に興味・関心のある方は、委員会見学申込書をご利用ください。
委員会見学申込書の書式は、本会会員専用ページからダウンロードすることができます。

広告

家屋解体のことなら
当社へお任せ下さい!

ダイネンの 家屋解体サービス

- 解体どこに頼めばいいの
- 空家の家財どうしたらいい
- 老朽化した空家を所有
- 家屋が崩れそう

定期管理から解体・売却まで空き家に関する相談承ります

空家管理

- 1ヶ月に1回建物巡回
- 郵便物回収
- 通気換気
- 巡回報告書の提出(毎月)

サービス提供エリア 兵庫県南西部

ダイネン株式会社

燃料事業部

〒672-8555 姫路市飾磨区中島3001

お気軽に
お問い合わせ
ご相談下さい

☎079-234-7176

受付時間/9:00~17:00(土日・祝日、盆休み・年末年始は除く)

ダイネン 空き家管理サービス

このようなお悩みをお持ちの方が周りにいらっしゃいませんか？

- ▶障がいがあって、仕事ができない。生活が苦しい。
- ▶障害年金に該当するか分からない。申請の仕方もわからない。
- ▶自分で障害年金の請求をしてみたが、不支給になった。なぜなんだろう。
- ▶障がいのある子どもの将来が心配だ。 などなど・・・



障害年金

をご存知ですか？ 障害年金は公的な「保険」です。病気やけがで苦しむ方、
そのご家族の方に少しでも安心して頂くために申請をお手伝いしています。

うつ病・統合失調症・双極性障害・糖尿病・がん・肝硬変・脳梗塞・脳出血・知的障害・
発達障害・人工透析・人工関節・ペースメーカーなどほとんどの病気が対象です。

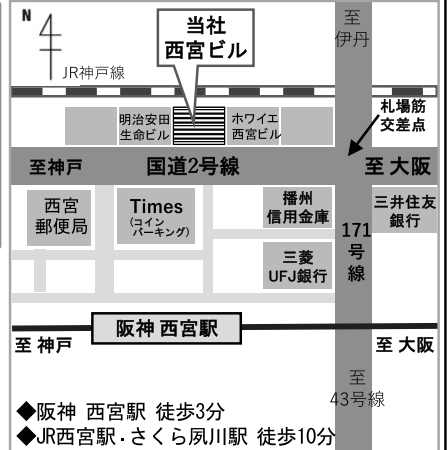
複雑で面倒な障害年金の申請を
社会福祉士と社会保険労務士の
ダブルライセンス保持者の代表が
フルサポートいたします！



代表 牧江 重徳
(社会福祉士・社会保険労務士)

初回無料面談のご予約は☎0798-37-1223(直通)まで
申請に関わる要件・見込み・金額など無料でご相談をお受けします。

社会保険労務士法人 牧江 & パートナース 牧江社会福祉士事務所
併設：兵庫・大阪障害年金相談センター
〒662-0971 西宮市和上町5番9号 西宮ビル 0798 (37) 1223



うすき行政書士事務所
(うすき社会福祉士事務所併設)

ご相談はこちらまで。
どこでも駆けつけます！



いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉サービス事業所を立ち上げたい。
- 新しく会社やNPOを興したいと考えている。
- 認定NPO等の準備を考えている。
- 社会福祉法人・医療法人を設立したい。
定款変更・規則作りなど運営内容に助言がほしい。
- 保育所・認定こども園をやりたい。
- 成年後見を活用したほうがいい方がいる。
- 遺言書、遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

- ・各種公益法人(社団・財団・社福・医療)の設立手続き
- ・株式会社、NPO法人など設立手続き
- ・障害福祉サービス事業の手続き
- ・介護・障害サービス等の設立手続き等
- ・介護タクシーの許可取得
- ・遺言書、遺産分割協議書作成
- ・相続対応や成年後見制度の活用など
- ・クーリングオフなどの内容証明郵便作成
- ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係
- ・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 など(弁護士、司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

お電話はこちら！

0798-34-3999

090-9264-7594

sp8c6h89@aurora.ocn.ne.jp

これからも初心を忘れず

うすき行政書士・社会福祉士事務所 (大口事務所 併設)

兵庫県西宮市本町7番15号

(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。)

コロナ禍における虐待について

高齢者・障害者虐待対応委員会
委員長 田島 啓子

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令されて間もなく1年になろうとしている。元気に日々を過ごす人たちがさえ、大きな不安を抱えての日々。障害・高齢により生活のし辛さを抱える人たちの不安はいかばかりであろうか。

手指消毒・マスク着用が義務のように声高に言われる中、感覚過敏な障害者や認知症高齢者は大きな苦痛を味わうこととなり、マスクを着用しない（できない？）ことにより他者から非難の目を向けられている。家族も感染リスク回避の意味からも本人にマスク着用等を促すこととなり、本人たちはさらに大きな不安を抱えることになり、それが不安定な言動を誘発、結果、家族による不適切な介護を引き起こしてしまっているように思われる。

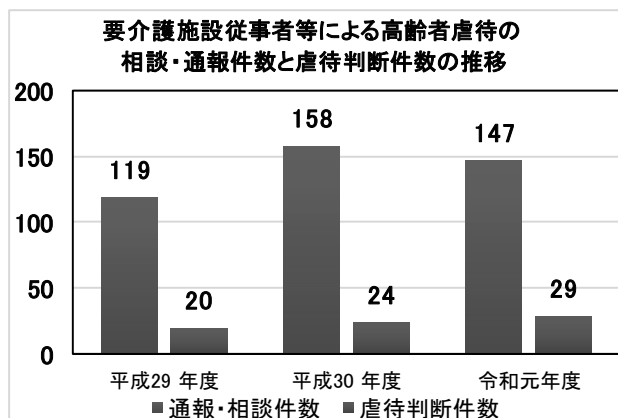
通所施設・入所施設を問わず、福祉サービス施設でも同様のことが起きており、本人への対応が厳しい言動となっていると思うことが増えていると思われる。

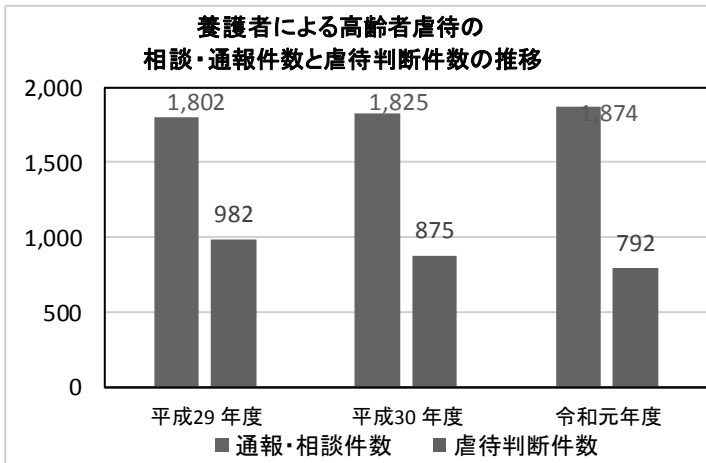
通所サービス等の利用に支障が生じる中、家族の負担が大きくなり、それが権利侵害を引き起こしている事実もあり、サービス利用を控える理由としてコロナ禍を挙げる養護者も少なくないなど、コロナ禍が権利侵害を引き起こす背景への影響は本当に大きいと感じている。

当委員会においてもコロナ禍で起きうる虐待事例を作成し、研修開催を行ったりといった努力も重ねているものの、収束の兆しが見えない今の状況下、権利侵害をいかに防ぐのか、課題山積のまま新年度を迎えたことが残念でならない。

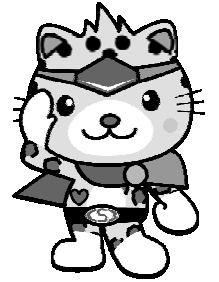
令和元年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果

令和元年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果が、令和2年12月22日に国では厚生労働省高齢者支援課から、兵庫県では高齢政策課から公表されました。兵庫県では、養介護施設従事者等による虐待について、147件の相談・通報が寄せられ、29件の高齢者虐待が認められました。養護者による高齢者虐待については、1,874件の相談・通報があり、792件・804人について虐待が認められました。





高齢者・障害者虐待対応委員会では、今年度も高齢者/障害者虐待対応力向上研修の開催をはじめ、介護・福祉サービス事業所や各施設への虐待防止等講師派遣、市町へのアドバイザー派遣等に取り組んでいきます。



高齢者・障害者虐待対応委員会の動き (2020年12月～2021年2月)	
日付	活動内容
【講師派遣】	
12月9日	神戸市 高齢者 センター職員向け
12月16日	姫路市 高齢者 市職員向け
1月14日	神戸市 障害者 支援センター・市職員向け
1月22日	高砂市 高齢者 施設職員・住民向け
1月27日	神戸市 障害者 支援センター・市職員向け
2月9日	三田市 高齢者 施設職員向け
2月26日	丹波市 包括職員向け
【専門職チーム派遣】	
12月2日	丹波市 高齢者
12月15日	丹波市 障害者
12月17日	神戸市 高齢者
1月15日	神戸市 障害者
1月21日	神戸市 高齢者
2月4日	神戸市 障害者
2月5日	太子町 高齢者
【弁護士とのワーキング】	
2月5日	次年度県事業 契約市町との対応
【委員会定例会】	
1月24日	オンライン会議(終了後勉強会実施)
【相談員派遣】	
毎月	兵庫県弁護士会主催
第1・3・5 火・木曜日	「高齢者・障害者のための弁護士 電話法律相談」

おすすめ Book

『凍りついた瞳(め)2020
虐待死をゼロに
するための6つの
考察と3つの物語』

編・著: 椎名篤子
出版社: 集英社



この本は、以前このコーナーで紹介された『凍りついた瞳』のシリーズ最新刊です。取り扱うテーマは、「子どもの虐待死」です。その中には、虐待死であるにもかかわらず、虐待死とされずに亡くなっている子どもがいるということのようです。

虐待は、諸々の要因が絡み合って発生しています。記憶に新しい、東京目黒区や千葉県野田市の虐待死事件にも触れ、その解決には、一人の努力だけで、一つの機関だけでは解決することは不可能で、それぞれの専門機関が連携しチームになって、子どもだけでなく、親を含めた家庭への支援が必要であることや、顔の見える関係の大切さを改めて教えてくれています。

本書は、専門家からの提言と物語で構成されています。とても読みやすくわかりやすく解説されています。こども家庭分野ではない方々にも、支援の在り方について、気づきをたくさん得ることができる本だと思います。ぜひ、手に取っていただきたい一冊です。

高齢者・障害者虐待対応委員会 矢野龍太

2021年4月10日

会員のみなさま

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
会長 谷口 弘

兵庫県社会福祉士会会費引落についてのお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、兵庫県社会福祉士の事業の推進につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

下記の通り、2021年度会費のお引き落としさせていただきますので、お知らせいたします。ご不明な点がございましたら下記担当までお問い合わせください。

敬具

記

2021年度 兵庫県社会福祉士会年会費

1. 引落日 2021年5月27日(木)
2. 引落金額 17,121円
内訳：兵庫県社会福祉士会年会費 17,000円
引落手数料121円(110円×消費税10%)

2021年度ばあとなあ兵庫名簿登録料 ※名簿登録者のみ

1. 引落日 2021年6月28日(月)
2. 引落金額 10,121円
内訳：ばあとなあ兵庫名簿登録料10,000円
引落手数料121円(110円×消費税10%)

※引落の前日までに、ご指定の口座へご入金いただきますようお願いいたします。

※預金通帳欄の摘要欄には、「DF.ヒョウゴフクシ」または「三菱UFJファクタ」等と印字されますのでご承知おきください。

※口座登録されていない方には、別途請求いたします。

お問合せ

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 事務局 担当/中村・北野

TEL: 078-265-1330 E-mail: syadanhyogo@hacsw.or.jp

【オンライン研修の受講方法・注意事項】

《オンライン研修の受講方法》

オンライン研修を受講いただくにあたり事前に準備いただきたい事項・使用機器等についてご案内いたします。

★Zoomアプリのダウンロード

オンライン研修では、Zoomを使用いたしますので、事前にZoomアプリをダウンロードしてください。なお、本会の研修を受講いただくだけならばZoomアカウントの取得（サインアップ）は不要です。

★使用機器の確認

オンライン研修では、Zoomにおいてマイク音声、自身の画像を表示して受講することが条件となりますので、研修までに、次の受講に必要な機器をご準備ください。なお、音声はパソコン等に内蔵されている機器で受講いただけますが、イヤホンの使用を推奨いたします。

長時間にわたり、映像を視聴いただくため、安定した自宅等でのインターネット回線（Wi-Fi等）での受講を推奨いたします。携帯電話会社の回線（パケット通信）でも受講は可能ですが、データ量が大きいので、通信料金やお使いの端末の契約内容にご注意ください。

【受講に使用な機器】

※以下のいずれかを満たしていることが必要です。（パソコンでの受講を推奨します）

- ・内蔵または外付けカメラ+Windows PC（Windows8.1または10推奨）
- ・内蔵または外付けカメラ+Mac（OS10.13以降）
- ・内蔵カメラ+iPad（iOS12またはiPadOS）
- ・内蔵カメラ+タブレット（Android7以降）

★事前テストについて

Zoomアプリをダウンロードしたら、事前に接続テストを行うことをお勧めします。

<https://zoom.us/test>

★その他

受講者の通信環境、通信機器の原因により、当日参加できない場合の返金はいりませんので、予めご了承ください。

《認証研修等の研修受講時の注意事項》

1. 講義中の ZOOM 設定について

オリエンテーション・講義・演習中は、原則「ビデオの開始」状態にしておいてください。
認証研修では、音声・ビデオ通信等により双方向性が担保されることが必須条件です。

2. 出席確認について

受講証の発行はせず、オンライン上で出席の確認をし、事務局にて出席管理をします。

3. 事前課題・中間課題・科目修了レポートについて

メール添付にてご提出いただきます。各課題の提出先・締切等については、その都度周知いたします。提出締切日までに提出のない場合、講義の出席は認められません。講義中に、作成した事前課題等を画面共有する場合がありますので、ご了承ください。

4. 講義資料について

各講義資料は、講義1週間前を目途に指定 URL へ掲載します。
受講生各自でのダウンロードもしくは印刷をお願いします。
事務局より印刷・郵送は致しかねますのでご了承ください。

5. 修了要件

15分以上の遅刻・早退があった場合は、研修修了として認められません。

6. 受講時および研修資料に関しての禁止事項

研修中、以下の事項を禁止としております。

- ・研修実施時の写真撮影、録画、録音、またはそれに準ずる行為
- ・本研修受講やご本人様の復習以外の目的での研修資料の使用

例1. 研修で使用する資料ファイルを社内外の方に共有すること

例2. 研修で使用する資料の画像などを公開すること

例3. 研修で使用する資料を複写すること

7. その他

各認証研修により、受講にあたっての注意事項等が異なる場合があります。
詳細につきましては、各認証研修の開催受講ルールに従ってください。

(問い合わせ先) 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会事務局
〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター 5F
TEL: 078-265-1330 FAX: 078-265-1340

研修資料の著作権について

公益社団法人日本社会福祉士会（以下「本会」という）が主催する研修では、研修に参加される方の学びを深め、研修の目的を達成するために、参加者に直接あるいはインターネットを通じてデータをダウンロードしていただくなどの形で、さまざまな研修資料（レジュメ、オリジナルテキスト、スライド、様式、PDF化された教科書の一部や論文、音声ファイル、動画ファイルなど）を配布しています。

これらの配布資料は、著作物として著作権法により著作者の権利が保護されています。したがって、著作者が明示的に許可した場合を除き、研修参加者が著作権法に認められている範囲を逸脱して再配布することや、ダウンロードサイトのURLを転送したり、SNS等での共有、別のサイトにアップロードするなどの方法により再配布することは、法律に抵触する可能性があります。場合によっては訴訟等に発展する恐れがあり、社会福祉士に対する社会の信用を失墜させることにもなりかねません。十分に注意して頂けますようお願いいたします。

なお、レポートや論文等で著作物を使える場合およびその条件については、次のサイトをご覧ください。著作物を引用する場合は、これらの法律を順守してください。

【文化庁 著作物が自由に使える場合】

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

以上

本会主催研修申込における個人情報の取り扱い等に関する注意事項

■個人情報の利用目的

研修申込フォームでは、受講を希望される方々（以下「受講申込者」という）が研修申込をいただく際に、お名前、住所、電話番号、e-mail アドレス等の個人情報をご登録いただきますが、これらの個人情報は、各研修を運営する目的以外では利用いたしません。

■個人情報の第三者への開示・提供の禁止

本会では、次のいずれかに該当する場合を除き、個人情報を第三者に開示致しません。

なお、業務委託先への提供の場合は第三者への開示または提供にあたりません。

1. 受講申込者の同意がある場合
2. 法令に基づき開示、提供することを求められた場合
3. 国または地方公共団体等が公的な事務を実施する上で、協力する必要がある場合であって、受講申込者の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障が出るおそれがある場合
4. 受講申込者や第三者の生命・身体・財産・名誉を損なうおそれがあり、本人の同意を得ることができない場合
5. 情報提供にあたりあらかじめ(1)第三者への提供を利用目的とすること、(2)第三者に提供される個人データの項目、(3)第三者への提供の手段または方法、(4)本人の求めに応じて当該本人が識別される個人データの第三者への提供を停止すること、の情報を本人に通知し、または本人が容易に知りうる状態に置いておくとともに、本人の求めに応じて第三者への提供を停止する場合
6. 統計的なデータなど本人を識別できない状態で開示・提供する場合

■免責事項

- ・ 各申込期間中のシステムの不具合による、申込未確定、申込不備による申込取消については、免責されるものとします。
- ・ 当サイトからリンクやバナーなどによって他のサイトに移動された場合、移動先サイトで提供される情報、サービス等について一切の責任を負いません。

以上

2021年度 基礎研修Ⅰ（オンライン研修）

開催のお知らせ

基礎研修は社会福祉士の必須研修です。

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、2012年度より、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系となりました。

社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 主催：兵庫県社会福祉士会生涯研修センター

2. 開催期間：2021年8月～2022年1月

3. 対象者：社会福祉士

（①新規入会者、②既会員で、これまでの基礎研修課程を受講されていない方、③基礎研修課程を受講されていても、1度も生涯研修制度「共通研修課程修了」申請をされていない方）

4. 受講料：社会福祉士会会員 12,000円 非会員 24,000円

（別途テキスト代：5,000円）（予定）

5. Zoomによるオンライン研修

*新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、オンライン研修（ZOOM）のみの開講とします。

○スケジュール

2021年4月～6月末 受講申し込み 定員100名

2021年7月 受講決定・事前課題の提出

2021年8月～9月 研修Ⅰ開催（8/21）または（9/11）各50名 ※どちらかの日程を選択

2021年9月～11月 中間課題の講義・提出（9/25、10/2に講義を開催） ※任意参加

2021年12月～1月 研修Ⅱ開催（12/18）または（1/15）各50名 ※どちらかの日程を選択

*受講申込→受講決定→①事前課題→②集合研修Ⅰ→③中間課題→④集合研修Ⅱ

基礎研修Ⅰは申込から終了までに4ステップあり、それぞれの課題及び研修を終えなければ、次へ進むことはできません。

6. 申込方法：

QRコードもしくはURLから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。



※回答後、自動返信メールが届きますのでメールの保存をお願いいたします。

または、別紙申込用紙にご記入の上、郵送・FAX・メールにて事務局へお申込ください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/mnPLQkt7VjVxrjCu6>

※研修の参加には下記事項に同意をしていただく必要があります。

P23～26の「オンライン研修の受講方法について」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」「研修資料の著作権について」をご確認ください。

7. 申込期限：2021年6月30日（水）まで ※先着順にて受講を決定します。

8. 受講決定通知書及び事前課題は、6月上旬以降に順次、郵送及びメールにてお知らせします。

受講決定通知書にて「受講費の納入方法」についてご案内しますので、必ず本会からのEメールを受信できるようにしてください。

9. 申し込み先及び問い合わせ先： 兵庫県社会福祉士会 事務局 中村

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5階

TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340 Mail：nakamura@hacsw.or.jp

2021年度 基礎研修 I 参加申込書

私は下記の通り、基礎研修 I に申し込みます。(※必須事項)

(ふりがな) ※お名前			
※会員区分 該当にチェックして 下さい。	<input type="checkbox"/> 会員 (No. _____) 受講料 12,000 円 (別テキスト代) 所属の都道府県社会福祉士会 (_____ ※兵庫以外の方はご記入ください。) <input type="checkbox"/> 非会員 受講料 24,000 円 (別テキスト代)		
※連絡先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	住所 〒 _____		
	勤務先名 (連絡先が勤務先の場合のみ)		
	TEL : _____ FAX : _____		
	※メールアドレスにフリガナをつけてください。(数字・アルファベット・記号すべて) フリガナ _____ E-mail : _____ ※携帯会社のメール (au, docomo, softbank 等) は添付データの容量によってはメールが届かず、迷惑メール防止フィルターの設定に依ってもメールが届きませんので、使用はしないでください。		
勤務先名			
相談援助経験年数 (※1)	年 _____ 月 _____	職種 (※1)	
研修参加に際しての同意事項	※研修の参加には同意をしていただく必要があります。 P23~26 に掲載の「オンライン研修の受講方法について」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」「研修資料の著作権について」を必ずご確認ください。 <input type="checkbox"/> 個人情報の取り扱い <input type="checkbox"/> オンライン研修の受講方法について <input type="checkbox"/> 研修資料の著作権について		
集合研修 I の希望日について	① 8月21日(土) 希望 ② 9月11日(土) 希望 ③ どちらの日程でもよい いずれかに○をお願いします。希望日が集中した場合は、ご希望にそえない場合もありますのでご了承ください。		
備考欄	受講に際して必要な配慮等がある場合は、具体的にお書きください。		

(※1) 講義中にグループ討議があります。グループ討議のために必要となりますので必須となります。

注) お預かりした個人情報は、当研修会の運営目的外には使用いたしません。

2021年度 基礎研修Ⅱ（オンライン研修） 開催のお知らせ

基礎研修は社会福祉士の必須研修です。

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、2012年度より、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系となりました。

社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

2016年度～2020年度「基礎研修Ⅰ」を修了された皆さまには「基礎研修Ⅱ」のご案内をお送りしています。ぜひ期限内にお申込みください。

1. 主催 : 兵庫県社会福祉士会生涯研修センター
2. 開催期間 : 2021年5月～2022年2月
3. 対象者 : 2016年度～2020年度に基礎研修Ⅰを修了された方 定員：80名
4. 受講料 : 社会福祉士会会員 25,000円 非会員 50,000円
(別途テキスト代：5,000円) (予定)
5. 研修形態 : Zoomによるオンライン研修

*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン研修(ZOOM)のみの開講とします。

6. 振替受講について :
2021年度基礎研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点（他府県への移動自粛、三密回避による参加人数の抑制）から、近畿ブロック内の他府県士会への振替は行いません。
ご了承の上、受講してください。(未受講分は翌年度に受講可能です)

7. 申込方法：

QRコードもしくはURLから研修申込フォームにアクセスし、
必要事項をご入力ください。

※回答後、自動返信メールが届きますのでメールの保存をお願いいたします。

または、別紙申込用紙にご記入の上、郵送・FAX・メールにて事務局へお申込ください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/TFTLWUEwmsCw6MQj7>



※研修の参加には下記事項に同意をしていただく必要があります。

P23～26の「オンライン研修の受講方法について」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」
「研修資料の著作権について」をご確認ください。

8. 申込期限：2021年4月19日（月）まで ※先着順にて受講を決定します。

9. 受講決定：

受講の可否は、5月上旬頃に「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。

「受講費の納入方法」等についてご案内しますので、必ず本会からのEメールを受信できるようにしてください。

10. 申し込み先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5階

TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340

Mail：nakamura@hacsw.or.jp

○基礎研修Ⅱの流れ

受講申込→受講決定→オンライン研修①～オンライン研修⑩（全10回）

※おおむね月に1回ずつオンライン研修を受講していただくほか、自宅学習があります。

【2021年度 基礎研修Ⅱプログラム】

科目	番号	テーマ	開催日
SW理論系科目Ⅰ	①	相談援助の視座と 社会福祉援助の展開過程	2021年5月29日 (土) 9:30~17:00
		実践のためのアプローチ	
	②	自立生活支援と コミュニティソーシャルワーク	2021年6月27日 (日) 9:30~12:30
地域開発 ・政策系科目Ⅰ	④	社会資源の理解と社会資源開発 (事前課題あり)	2021年8月28日 (土) 9:30~17:00
		連携システムのあり方と ネットワークの構築	
⑤	地域における福祉政策と福祉計画 (事前課題あり)	2021年9月18日 (土) 9:30~17:00	
	社会福祉調査の方法と実際 (修了レポートあり)		
人材育成系科目Ⅰ	⑥	スーパービジョンとは	2021年10月30日 (土) 9:30~17:00
		スーパービジョンの モデルセッションをみる	
		スーパーバイザー体験	
権利擁護 ・法学系科目Ⅰ	⑦	社会福祉における法Ⅰ	2021年11月20日 (土) 9:30~17:00
		ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ	
	⑧	社会福祉における法Ⅱ	2021年12月25日 (土) 9:30~17:00
		ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	
実践評価・ 実践研究系科目Ⅰ	⑨	実践研究の意義と方法	2022年1月22日 (土) 9:30~20:00
		実践研究のための記録	
		実践評価の方法	
	⑩	実践研究発表の方法 (事前課題・修了レポートあり)	2022年2月26日 (土) 9:30~17:00

(※開催時間は予定となります。)

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
2021年度 基礎研修Ⅱ参加申込書

(ふりがな) ※お名前			
※会員区分 該当にチェックし て下さい。	日本社会福祉士会が発行した会員番号 <input type="checkbox"/> 会員 (No. _____) 受講料 25,000 円 (別テキスト代) 所属の都道府県社会福祉士会 (_____ ※兵庫以外の方はご記入ください。) <input type="checkbox"/> 非会員 受講料 50,000 円 (別テキスト代)		
※連絡先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	住所 〒 _____		
	勤務先名 (連絡先が勤務先の場合のみ)		
	TEL :	FAX :	
	携帯 :		
	※メールアドレスにフリガナをつけてください。(数字・アルファベット・記号すべて) フリガナ _____ E-mail : _____ ※携帯会社のメール (au, docomo, softbank 等) は添付データの容量によってはメールが届かず、迷惑メール防止フィルターの設定に依ってもメールが届きませんので、使用はしないでください。		
基礎Ⅰ修了年度			
勤務先名			
相談援助経験年数 (※1)	年 月	職種	
	※累計年数を記載してください。		(※1)
研修参加に際して の同意事項	※研修の参加には同意をしていただく必要があります。 P23～26 に掲載の「オンライン研修の受講方法について」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」「研修資料の著作権について」を必ずご確認ください。 <input type="checkbox"/> オンライン研修の受講方法について <input type="checkbox"/> 個人情報の取り扱い <input type="checkbox"/> 研修資料の著作権について		
備考欄	受講に際して必要な配慮等がある場合は、具体的にお書きください。		

(※1) 講義中にグループ討議があります。グループ討議のために必要となりますので必須となります。

注) お預かりした個人情報は、当研修会の運営目的外には使用いたしません。

【自然災害発生等の場合】やむを得ず研修会を延期する場合があります。その判断基準等は、本会ホームページをご参照ください。

2021年度 基礎研修Ⅲ（オンライン研修）

開催のお知らせ

基礎研修は社会福祉士の必須研修です。

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、2012年度より、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系となりました。

社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

2016年度～2020年度「基礎研修Ⅱ」を修了された皆さまには「基礎研修Ⅲ」のご案内をお送りしています。ぜひ期限内にお申込みください。

1. 主催 : 兵庫県社会福祉士会生涯研修センター
2. 開催期間 : 2021年5月～2022年3月
3. 対象者 : 2016年度～2020年度に基礎研修Ⅱを修了された方 定員：80名
4. 受講料 : 社会福祉士会会員 30,000円 非会員 60,000円
(別途テキスト代：3,000円) (予定)
5. 研修形態 : Zoomによるオンライン研修

*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン研修(ZOOM)のみの開講とします。

6. 振替受講について :
2021年度基礎研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点（他府県への移動自粛、三密回避による参加人数の抑制）から、近畿ブロック内の他府県士会への振替は行いません。
ご了承の上、受講してください。(未受講分は翌年度に受講可能です)

7. 申込方法：

QRコードもしくはURLから研修申込フォームにアクセスし、
必要事項をご入力ください。

※回答後、自動返信メールが届きますのでメールの保存をお願いいたします。

または、別紙申込用紙にご記入の上、郵送・FAX・メールにて事務局へお申込ください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/zPA2ByFTSDRJD6Mb6>

※研修の参加には下記事項に同意をしていただく必要があります。

P23～26の「オンライン研修の受講方法について」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」
「研修資料の著作権について」をご確認ください。

8. 申込期限：2021年4月19日（月）まで ※先着順にて受講を決定します。

9. 受講決定：

受講の可否は、5月上旬頃に「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。

「受講費の納入方法」等についてご案内しますので、必ず本会からのEメールを受信できるようにしてください。

10. 申し込み先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5階
TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340
Mail：nakamura@hacsw.or.jp

○基礎研修Ⅲの流れ

受講申込→受講決定→オンライン研修①～オンライン研修⑩（全10回）

※おおむね月に1回ずつオンライン研修を受講していただくほか、自宅学習があります。

【2021年度 基礎研修Ⅲプログラム】

科目	番号	テーマ	開催日
実践評価 ・実践研究系科目Ⅰ	①	対人援助と事例研究	2021年5月22日 (土) 9:30~17:00
		事例研究の基本枠組み	
		事例研究の方法としての ケースカンファレンス	
SW理論系科目Ⅰ	②	事例研究のための事例のまとめ方	2021年7月10日 (土) 9:30~17:00
		実践事例演習Ⅱ (事前課題・修了レポートあり)	
実践評価 ・実践研究系科目Ⅰ	③	模擬事例検討会 (中間課題・修了レポートあり)	2021年8月9日 (月祝) 9:30~17:00
権利擁護 ・法学系科目Ⅰ	④	意思決定の支援 (事前課題・修了レポートあり)	2021年9月4日 (土) 9:30~17:00
地域開発 ・政策系科目Ⅰ	⑤	地域における福祉活動 (事前課題あり)	2021年10月9日 (土) 9:30~17:00
サービス管理 ・経営系科目Ⅰ	⑥	社会福祉の組織と 組織マネジメントの意義、会議運営	2021年11月6日 (土) 9:30~20:00
		福祉サービスにおける質の評価と サービスマネジメント	
		リスクマネジメントと苦情解決システム	
	⑦	事例研究(苦情、リスク、サービス評価) (事前課題・修了レポートあり)	2021年12月4日 (土) 9:30~17:00
地域開発 ・政策系科目Ⅰ	⑧	地域の課題の解決に向けた具体策について (中間課題・修了レポートあり)	2022年1月8日 (土) 9:30~17:00
人材育成系科目Ⅰ	⑨	新人教育プログラム (事前課題・修了レポートあり)	2022年2月12日 (日) 9:30~17:00
	⑩	スーパービジョンのモデルセッション (事前課題あり)	2022年3月5日 (土) 9:30~17:00

(※開催時間は予定となります。)

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
2021年度 基礎研修Ⅲ参加申込書

(ふりがな) ※お名前			
※会員区分 該当にチェックし て下さい。	日本社会福祉士会が発行した会員番号 <input type="checkbox"/> 会員 (No. _____) 受講料 30,000 円 (別テキスト代) 所属の都道府県社会福祉士会 (_____ ※兵庫以外の方はご記入ください。) <input type="checkbox"/> 非会員 受講料 60,000 円 (別テキスト代)		
※連絡先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	住所 〒 _____		
	勤務先名 (連絡先が勤務先の場合のみ)		
	TEL : _____ FAX : _____ 携帯 : _____		
	※メールアドレスにフリガナをつけてください。(数字・アルファベット・記号すべて) フリガナ _____ E-mail : _____ ※携帯会社のメール (au, docomo, softbank 等) は添付データの容量によってはメールが届かず、迷惑メール防止フィルターの設定に依ってもメールが届きませんので、使用はしないでください。		
基礎Ⅰ修了年度			
勤務先名			
相談援助経験年数 (※1)	年 _____ 月 _____	職種 _____	
研修参加に際して の同意事項	※研修の参加には同意をしていただく必要があります。 P23～26 に掲載の「オンライン研修の受講方法について」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」「研修資料の著作権について」を必ずご確認ください。 <input type="checkbox"/> オンライン研修の受講方法について <input type="checkbox"/> 個人情報の取り扱い <input type="checkbox"/> 研修資料の著作権について		
備考欄	受講に際して必要な配慮等がある場合は、具体的にお書きください。		

(※1) 講義中にグループ討議があります。グループ討議のために必要となりますので必須となります。

注) お預かりした個人情報は、当研修会の運営目的外には使用いたしません。

【自然災害発生等の場合】やむを得ず研修会を延期する場合があります。その判断基準等は、本会ホームページをご参照ください。

ソーシャルワークアカデミー ー 2021

社会福祉士が展開するソーシャルワークは、どのような理論に基づく知識や技術をその根拠としているのかを明確にすることが、求められています。

また、日々のソーシャルワークの蓄積と共有化を通して、新たな実践理論を明らかにしていくことも期待されています。



社会福祉における実践を理論化し研究を構築することを目的として実施します。

★日程・内容等

→Zoomでのオンラインでの開催を基本としますが、状況によって、集合等の方法も検討していきます。

Step 1

実践研究について学ぶ【講義】

講師：神戸親和女子大学発達教育学部福祉臨床学科 教授 高橋昌子氏

5月22日（土）13:00～17:00

- ・実践研究のイロハ
- ・実践研究の方法

※アカデミー生以外も受講できます

Step2 アカデミー

実践研究方法の実際【個別学習】

7月10日（土）

9月4日（土） 各回 13:00～17:00

10月2日（土）

- ・研究テーマ等設定
- ・調査研究等の分析
- ・理論の構築
- ・研究者の視点の獲得

調査研究員のメンバーが個別に学習をサポートします

Step3

実践研究発表会【講義・発表】

10月30日（土）13:00～17:00

- ・実践研究発表の意義
- ・実践研究発表

講師：神戸親和女子大学発達教育学部福祉臨床学科 教授 高橋昌子氏

※アカデミー生以外も受講できます

★受講定員・受講料

・5月22日（土）

実践研究について学ぶ【講義】20名

- ▶社会福祉士会会員 2,000円
- 会員外 4,000円

・7月10日・9月4日・10月2日（土）

アカデミー

実践研究方法の実際【個別学習】8名

- ▶アカデミー受講者は、実践研究について学ぶ【講義】/実践研究発表【講義・発表】の受講も含まれた受講料です。
- ▶社会福祉士会会員 25,000円
- 会員外 50,000円

・10月30日（土）

実践研究発表【講義・発表】30名

- ▶社会福祉士会会員 2,000円
- 会員外 4,000円



★申し込み締め切り

5月7日（金）

※実践研究について学ぶ【講義】のみ受講したい方は、別途開催要項をご確認ください。
※実践研究発表【講義・発表】については、後日ご案内します。

★申し込み方法

裏面の受講申込書に必要事項を記入の上、FAX・メール・郵送にて兵庫県社会福祉士会事務局へお申し込みください。

兵庫県社会福祉士会 調査研究委員会

兵庫県社会福祉士会 調査研究委員会主催

実践研究について学ぶ研修

(ソーシャルワークアカデミーSTEP1)

日 程：2021年5月22日(土)
時 間：13:00~17:00(受付12:30~)
開催方法：オンライン (Zoom)
内 容：「実践研究のイロハ」
「実践研究の方法」
講 師：神戸親和女子大学 高橋 昌子氏
定 員：20名 (最少催行人数：18名)

※ソーシャルワークアカデミー受講者優先

申込締切：2021年5月7日(金)
受講料：2,000円 (会員) ・ 4,000円 (非会員)

ソーシャルワークを実践している中での
「気づき」や「新しい課題」等を共有し、
集約・分析・理論化するきっかけにしませんか？



社会福祉実践研究発表は
本会会員のソーシャルワーク実践における
学術活動の集大成です。

一般社団法人

兵庫県社会福祉士会

Hyogo Association of Certified Social Workers

【問い合わせ先】

〒651-0062

兵庫県神戸市中央区坂口通2丁目1-1

☎078-265-1330

実践研究について学ぶ研修

ふりがな	
お名前	
住所	〒
会員・非会員	①会員（会員番号： ） ②非会員（社会福祉士） ③非会員（社会福祉士以外）
連絡先	TEL： 携帯：
※メールアドレス・連絡の取れる電話番号を必ず記入してください	メールアドレス： ※添付ファイル等が受信可能なアドレスを記入してください。
勤務先名	
職種	
オンライン研修の経験	①初めて ②1～2回程度 ③3回以上 ④5回以上
研修時の使用機器(端末)	①パソコン ②タブレット ③スマートフォン ④その他

※申込者数が一定人数に満たない場合、研修を中止することがあります。

その際、中止のお知らせは申込書に記載頂いた連絡先にご連絡します。

※研修参加費の支払いは、受講決定通知書に記載の振込先に振込をお願いします。（支払い期日は追ってお知らせします）

※メールでお申込をされる場合は、entry@hacsw.or.jp宛に送信してください。件名には必ず開催日及び研修名を入力し、メール本文に上記必要事項を入力してください。

スクールソーシャルワーク研修 ～4回シリーズ～

今年度も、関西学院大学の馬場先生を講師に「スクールソーシャルワーク実践スタンダード」を活用した研修『スクールソーシャルワーク研修 ～4回シリーズ～』を実施いたします。

今年度はSSW 初心者からベテランまで、また、SSWに関心のある人も、それぞれのレベルに応じた参加の仕方ができるような内容となっています。

初回：2021年5月23日（土）13：30～16：30

場所：兵庫県福祉センター202 会議室（オンライン受講の方は自宅等）

対象：スクールソーシャルワーカー、教職員、スクールソーシャルワークを学びたい方

内容：第1回 SSWとは？

（ベテランの方には、自分ならSSWを他者にどう説明するかを考えてもらいます。）

第2回 根拠のある実践のための、包括的アセスメント

第3回 効果的なケース会議の進め方

第4回 地域との連携（要対協・協議会の活用の仕方）

講師：関西学院大学 馬場幸子氏

受講費：会員 8,000円 非会員 12,000円（4回分の受講費）

研修日程：5/23（日）、8/22（日）、11/14（日）、2/27（日）の4日間の予定

*上記4日間とは別に交流会（ワールドカフェ方式でテーマを決め意見交換）を6月に企画しています。講師は出席しませんが参加者の皆さままで交流を深められる時間をとります。詳細は5/23にお知らせいたします。お楽しみに！

申込み：共通の申込書に必要事項を記入の上、5月14日（金）までに本会事務局へメール、郵送、FAXでお申込みください。

*受講決定通知書をご確認のうえ、各自で受講料を振り込んでください。

<兵庫県社会福祉士会事務局>

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5F

電話 078-265-1330 FAX 078-265-1340 E-mail entry@hacsw.or.jp

* **会場受講は先着15名**とさせていただきます。ご希望の方は早めにお申し込みください。会場が定員に達した際はオンラインでの受付とさせていただきます。

ただし、状況により調整が可能となった場合には、2回目以降にオンライン→会場参加（もしくはその逆）への変更等も検討いたします。

★2021年度★

【スクールソーシャルワーク研修 ～4回シリーズ～】



（ふりがな） お 名 前	
ご 住 所	
ご 連 絡 先	TEL: FAX: Email: (必須) <u>※オンライン受講が必要です。メールアドレスは必ずご記入ください。</u>
勤 務 先	
職 名 (経験年数)	
会員/非会員	会員 (No.) / 非会員 (どちらかに○)
参 加	オンライン 会場参加 (どちらかに○)
	スクールソーシャルワーク実践スタンダードが ある / ない (冊子でもデータでもOKです) <u>※お手元に「スクールソーシャルワーク実践スタンダード」をお持ちの方は持参くださいますようお願いいたします。</u>
備 考	

*締め切り 令和3年5月14日(水)
兵庫県社会福祉士会 事務局までお願いいたします。

【認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修】

2021年度 災害支援活動者養成研修

災害対応・支援（分野共通）（分野専門/地域社会・多文化分野/ソーシャルワーク機能別科目群）

I単位 認証No.20170015 高齢分野、障害分野、児童・家庭分野、医療分野での読み替え可能

No	コース名	開催日	受講料	定員
1	単位取得コース ※事前・事後課題あり	5月29日（土）～30日（日） 各日とも9:30～17:00	社会福祉士会会員：12,000円 非会員：24,000円	70名
2	一般教養コース ※事前・事後課題なし		社会福祉士会会員：8,000円 非会員：16,000円	30名

【会場】大阪府社会福祉会館 501号

【対象】ソーシャルワーカー、災害支援に興味のある方

【申込締切】2021年5月7日（金）※先着順 受講の可否は順次文書について通知します。

【申込方法】申込書に必要事項を記入の上、兵庫県社会福祉士会事務局まで FAX または QRコードから必要事項を入力してお申し込みください。


<https://forms.gle/Sp5cPVUc8uRP4yNg7>

【修了要件】単位取得コース受講希望者が対象

1. 事前・事後課題を提出し合格すること。
2. 2日間の研修を受講すること（15分以上の遅刻・早退・途中退室は未修了となります）

【事前課題】「当研修を受講するに当たり、受講者の在住又は職場のある市町村の防災計画を読み、避難所や福祉避難所の場所を確認し、避難所の運営方法を調べる」（800字～1,000字）

※5月29日研修初日にご持参ください。

【事後課題】1. 「社会福祉士会が派遣する災害支援活動時における社会福祉士の役割について」
2. 「災害ソーシャルワークにおけるニーズ把握やアセスメントの実際について」

(各800字～1,000字)

【注意事項】受講決定通知書にて具体的なお支払い方法をご案内します。一度お振込みいただいた受講料につきましては、新型コロナウイルスの感染状況により、やむを得ず開催不可となった場合を除き、返金いたしませんのでご了承ください。なお、返金が生じた場合については、振込手数料は除いた金額でお振込みいたしますので、あわせてご了承ください。

【研修内容】

1日目：5月29日（土）

時間	内容
9:30～	オリエンテーション
9:35～11:05	①【講義】ソーシャルワーカーによる災害支援（支援者と受援者の想いにふれて）
11:15～12:45	②【講義】要援護者支援のための災害救助法と支援制度
13:45～15:15	③【講義】日本社会福祉士会の災害支援活動と県士会の取り組み
15:25～16:55	④【講義】専門職団体の支援活動（DMAT＜医療専門職の災害派遣チーム＞の活動紹介）
16:55～17:00	まとめ・事務連絡

2日目：5月30日（日）

時間	内容
9:30～	オリエンテーション
9:35～11:05	⑤【講義・演習】避難所の実際 (避難所の暮らしと福祉活動について、福祉避難所の実態について)
11:15～12:45	⑥【講義・演習】災害対応マニュアルの理解
13:45～15:15	⑦【講義・演習】災害支援の実際Ⅰ 災害ソーシャルワークにおける積極的ニーズ把握・アセスメントについて
15:25～16:55	⑧【講義・演習】災害支援の実際Ⅱ アセスメントシート・企画シートを使った住民主体の地域ネットワークづくりについて
16:55～17:00	まとめ・事務連絡

※プログラムの順序は都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

なぜ、精神科医療現場等で虐待が起こるのか ～神出病院の虐待事案から考える～

2020年3月、神戸市内の精神科病院内で職員による患者への虐待事件が報道されました。当該職員は逮捕・起訴され、裁判の過程で、患者に対する様々な身体的・性的な虐待事実について詳細が明らかにされました。

兵庫県においては、昨年から医療機関や福祉施設等における職員による虐待事件が複数報道されていますが、本来患者や入所者の人権や生命を守るべき医療機関や福祉施設等でなぜ、このような虐待事案がくり返し起こるのでしょうか。また、私たちソーシャルワーカーはこの虐待問題にどう向き合えばよいのでしょうか。



兵庫県精神保健福祉士協会および兵庫県社会福祉士会を含む6団体は、この事件について真相究明のため、2020年8月、神戸市に対して、第三者調査機関の設置について要望するとともに、勉強会を重ねてきました。その中で、現在の精神科医療現場等がおかれている構造的な問題や人材の不足、法的な不備や地域の受け皿不足など、いくつもの課題が明らかになってきました。このため、「精神科医療現場等の現状」を知るとともに、これから私たちソーシャルワーカーが取り組むべき方向性について考える機会といたします。

1. 日時 **2021年5月30日（日）** 13時30分～16時30分（受付13時～）
2. 開催 **オンライン（ZOOMによる）**
3. 共催 兵庫県社会福祉士会・兵庫県精神保健福祉士協会
4. 定員 参加80名程度（最少催行人数30名。定員を超えた場合は、当会より連絡いたします）
5. 対象者 社会福祉士、精神保健福祉士、一般の方（どなたでも参加できます）
6. 内容①基調報告：神出病院における虐待事案の状況報告（裁判傍聴等より）精神保健福祉士協会（角野氏）
②シンポジウム：兵庫県弁護士会（福島健太氏）・兵庫県精神保健福祉士協会（北岡祐子会長）
兵庫県精神福祉家族会連合会（新銀輝子会長）・兵庫県精神医療人権センター（吉田明彦氏）
兵庫県医療ソーシャルワーカー協会（調整中）・社会福祉士会（清原幸代氏・地域移行支援委員会）
③ブレイクアウトセッション（グループ討議等）
7. 参加費 会員1500円 一般2000円（資料代等）
※参加費は指定口座へ振り込みをお願いします。（振り込み後は返金できません）
※社会福祉士会、精神保健福祉士協会、医療ソーシャルワーカー協会の会員の方は、会員となります

【お申し込み先】必要事項（氏名、会員の場合は、所属団体名と会員番号、電話番号）を明記し、メールにて**5月14日（金）**までに兵庫県社会福祉士会・事務局へお申し込みください。

※送信先：entry@hacsw.or.jp

※5月20日頃に各メールアドレスへ招待メール（ZOOM）を送信します。

【連絡先】〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 福祉センター5階
TEL078-265-1330 FAX078-265-1340

【自然災害による中止】自然災害発生等によりやむを得ず学習会を中止する場合があります。

判断基準等は、兵庫県社会福祉士会ホームページをご参照ください。

（兵庫県社会福祉士会HP：www.hacsw.or.jp/）

【当日連絡先】兵庫県社会福祉士会 担当 岡本（090）3033-7205

2021年度 阪神ブロック記念講演会について

記念講演

「伝わるコミュニケーション力を磨くコツ」 ～意思決定支援を効果的に遂行するために～



(講師) A domain 代表
Communication&Art Reading Lab. 代表
山本 伸子氏

◎NPO法人マザーズサポーター協会認定講師／メンターマネジメント協会講師／叱り方検定講師
ひょうご仕事と生活センター外部相談員／チャイルドアートカウンセラー

- 日時 2021年5月30日(土) 13時30分～16時40分
- 場所 東リ 伊丹ホール・3F 会議室 (伊丹市立文化会館)
伊丹市宮ノ前1-1-3 TEL:072-778-8788 阪急伊丹駅徒歩3分・JR伊丹駅徒歩8分
- 参加方法 ①会場参加(30名程度)または②オンライン(ZOOM)参加(50名程度)
のいずれかをご選択ください。(オンライン参加の方は後日招待状をメールします)
- 内容
13:00～13:30 受付
13:30～13:35 あいさつ、オリエンテーション
13:35～15:00 記念講演 (講師) A domain 代表 山本 伸子氏
15:10～15:40 阪神ブロック総会(事業報告、事業計画、会計報告等)
15:40～16:40 交流会(名刺交換会)/終了
- 参加費 **無料** (新型コロナ感染拡大防止のため、懇親会は開催しません)
- 申し込み 別紙に記入の上、**5月21日(金)までに**下記の阪神ブロック事務局(原田)まで、
FAX、またはメールにてお申し込みください。
※記念講演会・交流会は阪神ブロック以外の会員・一般の方も参加できます。
※阪神ブロック会員の方には、後日、出欠確認ハガキを送付いたします。
- 当日連絡先 090-3827-0119 (阪神ブロック長 中原)

(阪神ブロック事務局) 担当: 原田 (FAX) 078-265-1340、(メール) miharasino_oka@yahoo.co.jp

ヨーガ療法 体験講座



私たち専門職も、日々の業務から様々なストレスにさらされ、身体的、精神的なストレスを感じている方は多いと思います。

ご紹介する「ヨーガ療法」は、体操（アイソメトリック）と呼吸と瞑想（マインドフルネス）を組み合わせた療法であり、体の硬さも年齢も関係なく、誰でも自分に合ったレベルで始められるのが特徴です。ヨーガ療法を通じて、静かに体と心に向き合い、その気持ちよさを感じるひとときは、新型コロナからの様々なストレス解消やこころを安定させ健やかな状態へと導いてくれます。

阪神ブロック主催として実施しますが、他のブロックの方や一般の方もぜひご参加ください。

ヨーガ療法の歴史やマインドフルネスの本質について学ぶとともに、実際に体験をしてみましょう。

2021年7月11日（日）

13時30分～16時（受付13時～）

ヨーガスタジオ・チャンドラ（西宮北口）

西宮市高松町16-11 TEL0798-20-2876

阪急西宮北口駅下車、東改札口から1階におり、線路沿いに東へ徒歩3分

- 参加費 会員 2,000円 一般 3,000円（オンライン参加も同額です）
- 講師 古市 佳也 氏（日本ヨーガ療法学会会員、学会認定ヨーガ療法士）
認定ヨーガ療法士会兵庫・幹事長
- 定員 会場参加10名程度・オンライン参加10程度（最少催行人数5名）
感染防止策を講じて少人数で行いますが、今年度はオンライン（ZOOM）での参加も可能です。

持ち物 シャーシ等、タオル（動きやすい服装）※更衣室あります

申込締切 **6月30日（金）必着**

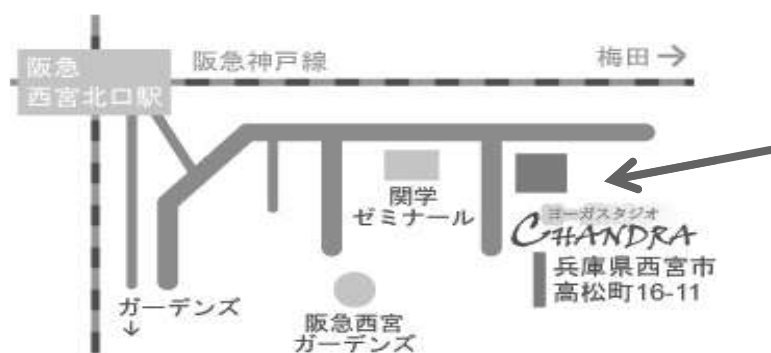
申込方法 共通様式の申込書に記入の上、メール・FAXにて本会事務局へお申し込みください。

※申込書に「会場参加またはオンライン参加」のどちらかをご記入ください。

※受講決定通知は送付しませんので、そのまま受講してください。

※参加費は当日お支払いください。（オンラインの方は招待状にて振込先をご案内します）

当日連絡先 阪神ブロック（岡本）090-3033-7205



【ヨーガスタジオ・チャンドラ】
阪急「西宮北口駅」下車、東改札口から
1階におり、線路沿いに東へ徒歩3分



速報!!

令和3年度独立型社会福祉士実践報告会

ご案内

令和3年度も独立型社会福祉士による実践報告会を開催いたします。
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年もオンライン(Zoom)開催です!!
感染が怖いので集合研修は遠慮している方、移動時間を省略したい方、県外なので参加できなかった方 etc オンラインであれば全て解消できますよ。

これまでも参加してくださっている方はもちろんですが、初めて参加される方も大歓迎です。Zoom活用に慣れていらっしゃらない方のために、事前練習会も行います。
この機会にぜひオンライン研修会にもチャレンジしてみませんか。
詳細については、決まり次第 広報させていただきますので、今しばらくお待ちください。

日時:令和3年7月17日(土)13:30~16:45 (入室13:00~)

会場:オンライン(Zoomコミュニケーション)

内容:独立型社会福祉士3名による実践報告&オンライン交流会

参加費:社会福祉士会会員 1,500円 非会員 3,000円

***独立型社会福祉士名簿登録 更新研修に該当いたします。**

*申込方法等につきましては、決まり次第ご連絡させていただきますので、
兵庫県社会福祉士会ホームページをご確認ください。

問合せ先

兵庫県社会福祉士会

独立型社会福祉士支援委員会 村上弘幸

fukinofou@kbh.biglobe.ne.jp

2021年度 スクールソーシャルワーカー養成研修

分野専門/児童・家庭分野/ソーシャルワーク機能別科目群/1 単位/認証番号：20180010

本研修は、スクールソーシャルワーカーとして、教育の場を拠点とした児童・家庭支援を実践するための社会福祉士の力量を養成するとともに、事例研究等により具体的な対応方法を習得することを目的に開催します。また、学校現場で支援を要する児童・家庭の状況を的確にアセスメントし、学校・保護者・地域（関係機関含む）との連携と協働を基に、児童の最善の利益の実現を図るソーシャルワーカーとして活動ができることを目指します。

1. 開催日 2021年7月24日（土）～7月25日（日）
2. 会場 兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通 2-1-1）または、Zoom ミーティング
3. 受講対象 以下①、②を満たす者
 - ①社会福祉士であること
 - ②スクールソーシャルワークに関心のある福祉専門職

※社会福祉士資格がなくとも受講することができますが、認証研修としての単位は取得できず、また、本研修修了後に社会福祉士資格を取得したとしても、遡って単位取得することはできないのでご注意ください。
4. 定員 100人（先着順） 内訳：会場 50人 / オンライン 50人
5. 受講料 社会福祉士会会員 12,000円 非会員：24,000円

※2日間通しの受講料のみの設定です。欠席があっても返金はできません
6. 昼食・宿泊 各自、ご手配ください
7. 修了条件 以下①、②、③をすべて満たす者
 - ①事前課題を提出すること（受講決定通知とともにご案内します）
 - ②2日間の研修を受講すること（15分以上の遅刻・早退・途中退室は未修了となります）
 - ③事後課題を提出し、合格すること

* 認証研修の単位が不要な場合は事前・事後課題の提出の有無は問いません
8. 申込期限 **2021年7月9日（金）**
9. 主催 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター
10. 申込方法 受講申込書に必要事項を記入し本会事務局まで FAX か郵送、QR コード、下の URL から必要事項を入力の上、お申込みください。
<https://forms.gle/EDXiutx3Fms3a83s7>
11. 研修プログラム（予定）



時間	7月24日（土）	7月25日（日）
9:15～	受付	
9:40～ 9:50	オリエンテーション	
9:50～ 11:20	①【講義・演習】スクールソーシャルワーク実践<子どもの虐待> 講師：調整中	⑤【講義】スクールソーシャルワーク実践<子どもの貧困> 講師：調整中
11:30～ 13:00	②【講義・演習】スクールソーシャルワーク実践<いじめ> 講師：調整中	⑥【講義】教育行政と学校文化 講師：調整中
13:50～ 15:20	③【講義・演習】エビデンスに基づく効果的なスクールソーシャルワーク 講師：大塚 美和子 氏（神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授）	⑦【講義・演習】事例からスクールソーシャルワーカーの支援展開を学ぶⅠ 講師：調整中
15:30～ 17:00	④【講義】スクールソーシャルワークの理論 講師：大塚 美和子 氏	⑧【講義・演習】事例からスクールソーシャルワーカーの支援展開を学ぶⅡ 講師：調整中

【調整中の講師】SSW スーパーバイザー等

2021年度スクールソーシャルワーカー養成研修受講申込書

(申込日： 月 日)

ふりがな	
名 前	
勤務先名称	
連絡先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	〒
	TEL： FAX： (※) E-Mail： ※オンライン受講希望の人は必須。添付ファイル受信可能なアドレスを記載してください。「-」と「_」や「0(ゼロ)」と「o(オー)」などの違いがわかるように表記してください。
会員/非会員	社会福祉士会会員(所属県士会： No.) 非会員
社会福祉士 登録番号	
受講者名簿への 掲載	<input type="checkbox"/> 掲載しない ※ネットワークづくりに役立てるために「氏名」「勤務先」「(会員の方は)都道府県社会福祉士会名」「(会員以外の方は)在住都道府県を記載した「受講者名簿」を作成し、研修受講者に配布する予定です。
スクールソーシャルワーク実践経験(○をつけてください) ※必須 ① 未経験 ・ ② 1～2年 ・ ③ 3年以上	
認証研修の単位	希望する ・ 希望しない
受講場所	オンライン(Zoom) ・ 会場
研修に参加するにあたり、同意をしていただく必要があります。P23～26に記載の「個人情報の取り扱いに関する注意事項」「オンライン研修の受講方法について」「研修資料の著作権について」を必ずご確認ください。 <input type="checkbox"/> 個人情報の取り扱い <input type="checkbox"/> オンライン研修の受講方法について <input type="checkbox"/> 研修資料の著作権について	
その他、受講に際して必要な配慮などについて具体的にお書きください	

【自然災害による中止】

自然災害発生等によりやむをえず研修会を中止する場合がございます。判断基準等は、本会ホームページをご参照ください。中止の場合は、受講料返金はいりませんのでご了承ください。

【その他】 事前課題、会場案内、受講料の納入方法、キャンセルの扱い等は受講決定通知の際に案内します。

【問い合わせ】 兵庫県社会福祉士会 事務局

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター5F

TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340

2021年度 成年後見人材育成研修 募集要項

2019年度より成年後見人養成研修の名称、プログラムが変わりました。成年後見人等候補者を養成する研修として、成年後見人材養成研修（認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修・4日間）を下記の要領で開催する予定です。本研修の修了者は、受任できるものを養成する「名簿登録研修（1日間）」を修了し、権利擁護センターぱあとなあ成年後見人候補者名簿に登録することになります。（※別途名簿登録料が必要です）

1. 主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会

2. 研修区分 認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修 認証番号：20180005
「分野専門（高齢）ソーシャルワーク機能別科目群 後見制度の活用（成年）2単位」

3. 研修目標 ①専門職後見人として社会福祉士が身につけるべき知識・技術を習得し、権利擁護センターにおける成年後見人としての一定の力量を確保すること。②地域で相談援助にあたる者が、成年後見制度活用の知識、技術を習得すること。成年後見人等として実務を担う社会福祉士（成年後見人等受任候補者）の養成を目的とする。

4. 開催日

第1日目	2021年 8月1日（日） 9時10分～17時00分 ※全日程受付は9:00～
第2日目	2021年 9月8日（水） 9時10分～17時00分
第3日目	2021年10月10日（日）9時10分～17時00分
第4日目	2021年11月23日（祝・火）9時10分～17時00分

※名簿登録研修 2021年12月11日（日）9時30分～17時00分

5. 会場 兵庫県福祉センター1階 多目的ホール（※会場が日程により変更の可能性あり）
（神戸市中央区坂口通2-1-1 JR灘駅より徒歩約10分 阪急王子公園駅 徒歩約10分）

6. 受講対象 次の要件のすべてを満たす者

- (1) 兵庫県社会福祉士会会員。または、本会と契約を交わした都道府県社会福祉士会に所属する社会福祉士。
- (2) カリキュラムの全課程を出席できる者
- (3) 日本社会福祉士会の基礎課程を修了している者、若しくは2011年度までの日本社会福祉士会の旧生涯研修制度の共通研修課程を1回以上修了している者
- (4) 2021年4月1日現在70歳未満の者（兵庫県会員のみ）

7. 定員 50名 ※なお、受講申込者が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することもあります。

8. 受講費 5万円（別途市販テキスト代、約14,000円が必要となります。）

※一旦、納入された受講費は、主催者の責による場合以外は返金いたしません。

※成年後見人材育成研修の受講料です。名簿登録研修は、受講料は不要です。

9. 新型コロナウイルス感染症が拡大の場合は、オンライン研修に変更の可能性があります

①研修の参加には、下記事項に同意をしていただく必要があります。詳細はP23～26に掲載の「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」「オンライン研修の受講方法について」「研修資料の著作権について」をご確認ください。

②研修開始前、研修中に集合研修からオンライン研修に変更になった場合でも、受講費の支払い後は受講費の変更、返還はありません。ご承知おきください。

10. 申 込 下記のQRコードもしくはURLから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力
ください。回答後に自動返信メールが届きますので、メールを保存してください。

Google フォームの URL

<https://forms.gle/NmJLazgj4dhdTTZ49>

または、別紙申込用紙にご記入の上、郵送・FAX
メールにて事務局へお申し込みください。



- ◆申込先 兵庫県社会福祉士会事務局(電話での申込みは受付していません。)
- ◆申込期間 2021年4月12日(月)～23日(金) ※郵便・FAXは締切日内に必着。

10. 受講決定 受講決定は、あらかじめ決められた定員に基づき、兵庫県社会福祉士会にて決定します。

11. 受講可否の連絡等

- ・受講可否は、5月下旬までに郵便にてご連絡します。
- ・受講申込が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することがありますのでご了承ください。
- ・会場案内、受講費の納入方法、テキストの購入方法、事前課題、およびキャンセル等の扱いについて
は、受講可否の連絡時にご案内します。

12. 修了要件

研修の修了には、次の基準を満たす必要があります。

- ・面接授業の出席が100%であること(オンライン研修の場合は、
- ・事前課題の提出すること
- ・修了評価で一定の水準を満たすこと
- ・15分以上の遅刻・早退があった場合は、その課目を欠席したものとみなす。

(また、15分未満の遅刻・早退は5回で1課目に相当する欠席とみなす。面接授業を欠席した課目数が4課目以内(修了評価をのぞく)の場合は、1期(1年間に限り受講期間の延長を認め、翌年度に欠席した課目を履修し修了評価にて合格することで、本研修を修了することができる。)

13. 研修単位について

(1) 公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度においては、新生涯研修制度では専門課程の2単位となり、旧生涯研修制度では「専門分野別研修」となります。

(2) 本研修は、認定社会福祉士制度の研修として認証されています。

認証科目：後見制度の活用(成年)(分野専門/高齢分野、ソーシャルワーク機能別科目群)

単位数：2単位

認証番号：20180005

注：分野については、認定社会福祉士の認定申請をするときに、自身の申請をしようとする分野の単位として扱うことができます。「後見制度の活用(成年)」は、高齢分野のほか、障害分野、医療分野、地域社会・多文化分野の認定申請者も各分野の単位として扱うことができます。

14. カリキュラム (1) 講義・演習等：4日間23.5時間 (2) 事前課題：指定する6科目

問い合わせ先	兵庫県社会福祉士会 事務局(担当 北野)
申込先	〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5F 兵庫県社会福祉士会 ぱあとなあ兵庫事務局 partner-jimu@hacsw.or.jp TEL : 078-222-8107 FAX: 078-265-1340

2021年度成年後見人材育成研修 カリキュラム

使用テキスト ①『権利擁護と成年後見実践』(メインテキスト) ②『後見六法』 ③『専門職後見人と身上監護』
④『成年後見実務マニュアル』 ⑤参考資料集等

	課目	課目の目標	時間(分)	形態	講師	使用テキスト					課題	
						①	②	③	④	⑤		
1日目 (390分)	0 研修ガイダンス	1 研修の目的を確認する 2 研修概要、スケジュール、事前課題とその取り扱い等を理解する 3 受講における留意点及び修了要件を理解し、受講姿勢を明確にする	30	講義	社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人等候補者名簿登録者						○	
	1 成年後見制度の解説	1 成年後見制度が成立した背景及び制度の趣旨と理念を理解する。 2 法定後見制度と任意後見制度の概要を理解する。 3 成年後見制度の周辺にある制度を理解する。 4 弁護士や司法書士等の専門職との連携について理解する。	120	講義	成年後見実務に精通した弁護士、司法書士、有識者(課目の内容を専門にしている大学(大学院・短大・専門学校を含む)の教員)	○	○	○			○	●
	2 成年後見活動における判断能力のとらえ方	1 成年後見制度における診断書、鑑定書について理解する。 2 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等を理解するために必要な医学的知識を修得する。	60	講義	医師	○	○					
	3 社会福祉士と成年後見～権利擁護の視点から	1 社会福祉士の専門性を活かした権利擁護の視点を理解する。 2 権利擁護の諸制度や成年後見制度の課題と最新動向を理解する。	180	講義	社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人等候補者名簿登録者	○	○	○			○	
2日目 (360分)	4 財産法の基礎	成年後見制度活用のための財産法の基礎的知識を修得する。	120	講義	成年後見実務に精通した弁護士、司法書士、有識者(課目の内容を専門にしている大学(大学院・短大・専門学校を含む)の教員)		○	○				●
	5 財産管理のための知識	1 成年後見制度活用のための財産管理の基本的事項を理解する。 2 財産管理に必要な具体的方法に関する知識を修得する。	90	講義	成年後見実務に精通した弁護士、司法書士	○	○		○	○		
	6 後見事務の実際1	具体的事例を通して、財産管理の方法を理解する	60	報告 解説	報告者:社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人等候補者名簿登録者 解説者:課目5担当講師等	○	○		○			
	7 家庭裁判所の実務の理解	1 家裁における後見担当部局の概要(裁判官、調査官、書記官それぞれの役割)を理解する。 2 家裁における家事審判手続きについて理解する。 3 不正防止への取り組み(監督人の選任、後見支援信託)について理解する。	90	講義	裁判官、家裁職員(元職含む)	○	○				○	
3日目 (360分)	8 家族法の基礎	1 成年後見制度活用に必要な親族法の基礎知識を修得する。 2 成年後見制度活用に必要な相続法の基礎知識を修得する。	120	講義	成年後見実務に精通した弁護士、有識者(課目の内容を専門にしている大学(大学院・短大・専門学校を含む)の教員)	○	○					●
	9 身上監護のための知識	1 身上監護とされる項目を修得する。 2 成年後見制度活用上の留意点に配慮できるようになる。 3 権利侵害に対抗できる手続きを理解する。	150	講義	成年後見実務に精通した有識者(課目の内容を専門にしている大学(大学院・短大・専門学校を含む)の教員)、社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人候補者名簿登録者	○	○	○	○	○		
	10 後見事務の実際2	具体的な活動事例を通して身上監護の方法を理解する	90	報告 解説	報告者:社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人等候補者名簿登録者 解説者:課目9担当講師等	○	○	○	○	○		
4日目 (300分)	11 演習1 ニーズの把握と対応	1 権利擁護ニーズについて理解する。 2 権利擁護に関わる制度の特徴と活用方法を理解する。	120	演習	社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人等候補者名簿登録者	○	○		○			●
	12 演習2 ネットワーク活用による権利擁護(それぞれの立場での権利擁護実践)	1 制度の限界を理解する 2 権利擁護について社会福祉士がとるべき態度について理解する。	120	演習	社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人等候補者名簿登録者	○	○		○			●
	13 今後の活動について	1 研修を振り返り、成年後見人に必要な知識・技術を共有する。 2 成年後見制度を活用するために必要な知識の理解度を確認するため、修了試験を行う。	60	講義	社会福祉士会の権利擁護センターばあとなあ成年後見人等候補者名簿登録者	○	○				○	●

2021年度成年後見人材育成研修（認証研修）受講申込書

下記の通り、受講を申し込みます。

所属都道府県 社会福祉士会名		
(ふりがな) 申込者氏名	-----	
自宅住所 (通知等送付先)	〒 _____	
連絡がつく 電話番号		
メールアドレス	※メールアドレスにフリガナをつけてください(数字・アルファベット・記号すべて) フリガナ E-mail : _____ ※携帯会社のメール (au, docomo, softbank等) は、添付データの容量によっては、メールが届かず、迷惑メール防止フィルターの設定によってもメールが届きませんので、使用はしないでください。	
社会福祉士 登録番号	※社会福祉士登録証に記載されている登録番号を記載ください。	
受講要件の確認 ※□に■(チェック) を入れてください。 ※要件の全てを満たす 必要があります。	<input type="checkbox"/> 会員番号 ※福祉士会会員番号を記載	※受講要件1
	<input type="checkbox"/> カリキュラムの全課程を出席できる	※受講要件2
	※いずれかにチェックの上、修了年度を記載ください。 <input type="checkbox"/> 基礎課程(基礎研修Ⅰ～Ⅲ)を受講済み(修了年度: 年度) <input type="checkbox"/> 旧生涯研修制度共通研修課程を1回以上修了済み	※受講要件3
	<input type="checkbox"/> 2021年4月1日時点で70歳未満の者 (兵庫県のみ)	※受講要件4
研修参加にあたって の同意事項	※研修の参加には同意をしていただく必要があります。 P23～26に掲載「個人情報の取扱い等に関する注意事項」「オンライン研修の受講方法について」「研修資料の著作権について」を必ずご確認ください。 <input type="checkbox"/> 個人情報の取扱い <input type="checkbox"/> オンライン研修の受講方法について <input type="checkbox"/> 研修資料の著作権について	
その他	※受講に関して特に配慮が必要な場合は具体的な内容を記入ください	

【申込方法】 必要事項をご記入のうえ、開催要項に記載のQRコード・郵便・FAX・メールにてお申込ください。(電話では受け付けておりません)

【申込先】 兵庫県社会福祉士会事務局

【申込期間】 2021年4月12日(月)～4月23日(金) ※郵便・FAXも締切日必着。

昔の写真募集

兵庫県社会福祉士会設立の当初から27年間（1993年～2020年頃）の
あなたがお持ちの写真で大募集します。

○本会は、2023年7月に設立30周年を迎えます。
これを記念し、30周年記念誌の編纂を開始しております。（発行2023年6月頃）

○記念誌では、本会の30年間の思い出を写真で振り返ります。



○あなたがお持ちの過去の思い出(アルバム)から
社会福祉士会の活動写真(1993年～2020年頃)を大募集させていただきます。

写真をご提供いただいた方には、もれなく記念品を贈呈するとともに、希望者には記念誌にお名前を掲載させていただきます。ぜひ、ご協力をお願いします。

○募集要項

写真例：設立総会、阪神淡路大震災救援活動、全国大会(2015年兵庫大会)、近畿ブロック大会(兵庫大会)、各種研修(社会福祉セミナー、基礎研修等)、イベント(まちかど相談会、ソーシャルワーカーデー、忘年会等)、委員会活動、地区ブロック活動、災害支援活動等

応募期間：2021年4月1日～9月30日

応募方法：紙ベース(郵送)・データベース(Email)を問いません

(①写真の返却希望の有無、②冊子へお名前掲載希望の有無、③写真の題名と年月(わかる範囲内で))をご明記ください。

送付先：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 事務局(30周年記念事業係)と明記をお願いします。

○留意事項

肖像権に配慮し、掲載承諾が得られるものをご送付願います。

ご提供いただいた写真は、原則としてお返し致しかねますが、返却をご希望される場合はお申し出ください。

なお、紙面の都合上、記念誌に掲載できない場合があります。



【お問い合わせ先】

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 事務局 (30周年記念事業係)
〒651-0062 神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター5F

TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340

Mail:entry@hacsw.or.jp

2021年度 兵庫県社会福祉士会

会員紹介キャンペーン

兵庫県社会福祉士会に入会を検討している方をご紹介します。
会員のみなさまにも、正会員として新しく入会された方にも、
喜んでいただける特典をご用意しております。



兵之助くん

★ご紹介特典★

ご紹介いただいた
本会会員（あなた）には
QUOカード 1,500円分
プレゼント!!

※ご紹介いただいた方の本会年会費の引き落とし確認後、QUOカードを発送させていただきます。
※紹介者数の上限はありませんので、何人でもご紹介いただけます。紹介者一人につき1,500円のQUOカードをプレゼントします。
※入会申込書が必要な方は、裏面の申込書にチェックをお願いします。

正会員としてご入会いただいた
新会員の方にも
QUOカード 1,500円分
プレゼント!!

※本会年会費の引き落とし確認後、QUOカードを発送させていただきます。

さ・ら・に!!

- ・兵之助くん入り本会オリジナルクリアフォルダーをプレゼント!!
- ・再入会者には入会金（5,000円）を本会が補助!

★キャンペーン期間★

2021年4月1日～2021年9月30日

※本会事務局に入会申込書及び本申込書を2021年9月30日までに送りいただいた方が対象です。

【紹介方法】

裏面の申込書に必要事項を記入の上、本会事務局までFAXまたはE-mailにてお申込みください。

兵庫県社会福祉士会事務局
TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340
E-mail: entry@hacsw.or.jp

兵庫県社会福祉士会に入会すると
こんな良いことがたくさんあります!

研修会へ参加し、自己研鑽の機会が豊富!
しかも、会員価格で受講できます。

最新情報や就職情報の
入手が可能になります

出版物が割引購入できます

など…他にもいろいろあります!

◎申込期限 2021年9月30日まで

会員紹介キャンペーン 申込書

兵庫県社会福祉士会 事務局宛

TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340

E-mail : entry@hacsw.or.jp



◎ご紹介いただける方をご記入ください 記入日 2021年 月 日

ふりがな 氏名		
住所	〒	
電話番号		入会申込書が必要な場合は 下記に☑を入れてください
E-mail		<input type="checkbox"/>

ふりがな 氏名		
住所	〒	
電話番号		入会申込書が必要な場合は 下記に☑を入れてください
E-mail		<input type="checkbox"/>

上記の方をご紹介いたします

ふりがな 氏名		会員番号	
住所	〒		
電話番号			
E-mail			

一つひとつのいのちに寄り添い、支え、まもる兵庫県社会福祉士会
～コロナを機にこれからの活動を展望する～
(兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画)

2021年4月1日

1. 趣旨・目的

兵庫県社会福祉士会は、1993年7月に結成し、今年28年目を迎えました。

本会では、2015年度に「兵庫県社会福祉士会・5ヵ年発展計画（第1期中期計画）」を策定し、本会の発展を中・長期的観点から取り組んできました。

その結果、生涯研修制度の充実とともに、会員数は1400名から1750名を超え、組織基盤の整備を進めることができました。

2020年度は第1期中期計画が最終年度を迎えるとともに、新型コロナウイルス感染拡大による影響を踏まえ、2021年度から2025年度を目標とする新たな「第2期中期計画」を策定します。

2. 「兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画」

- ①名称 「兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画」(2021年度～2025年度)
- ②策定 兵庫県社会福祉士会・組織力向上戦略会議
- ③委員 理事委員5名(谷口、中山、榎本、岸、中川)
公募委員6名(岡本、西川、乾、岸本、岡松、山岸)
- ④期間 2020年6月～2021年5月
- ⑥内容 会員アンケート及びワークショップ、パブリックコメントを通じて、幅広く、会員からの意見を聴取し、理事会の承認の上策定する。

⑦スケジュール

- 2020年4月 こうのとりの通信にてアンケート募集(8月末)
- 9月 ワークショップ(2回)
- 12月 第1期中期計画の総括・第2期中期計画の検討
- 2021年2月 第2期中期計画(素案)の策定
- 4月 パブリックコメント
- 5月 第2期中期計画(理事会協議・承認)
- 6月 第2期中期計画の公表(総会資料)



3. 会員意見の集約

◎アンケートの実施(4月1日～8月31日)

こうのとりの通信(春号)を通じ、会員アンケートを実施(回答者58名)

◎ワークショップの開催

9月16日 オンライン開催(7名参加)

9月27日 オンライン開催（8名参加）

◎理事会・理事委員長会議・組織力向上戦略会議における協議・検討

4. 重点課題（会員の意見による兵庫県社会福祉士会の課題における優先順位）

- ①社会福祉士の資質向上（生涯研修制度の充実、認定社会福祉士制度の普及・取得支援、研修に参加しやすい環境整備）
- ②会員の増加・退会者の防止（入会促進、組織率の向上）
- ③魅力ある会づくり（専門職団体との連携強化）
- ④地区ブロック活動の活性化（新入会員への支援）
- ④人材の発掘（地域共生社会に貢献できるSWの養成、
- ⑥地域貢献・社会貢献（SDGsに基づく地域貢献）
- ⑦会員へのサービス向上（会員特典の充実）
- ⑧災害支援（災害支援活動者への支援）
- ⑨財政基盤の強化（委託事業の拡大）
- ⑩組織のあり方・強化（事務局体制の強化）

5. 兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画（2021年度～2025年度）

「兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画（案）」・参考資料

「兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画・具体計画（案）」

6. パブリックコメント（意見募集）のお願い

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画（案）に対するあなた様のご意見を別紙にて、**4月30日（金）まで**に本会まで郵送またはFAX、メールにて送付をお願いします。

あなた様からいただいた貴重なご意見を踏まえ、「兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画」を策定し、6月26日（土）の予算総会にて報告させていただきます。

7. 送付先

兵庫県社会福祉士会・事務局

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 福祉センター5階

TEL078-265-1330 FAX078-265-1340

E-Mail: entry@hacsw.or.jp



兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画（案）に対する意見募集

氏名	・	会員番号	
	匿名		

◎兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画に対するご意見をお願いします。

項目	あなたのご意見

◎パブリックコメント（意見募集）にご協力ありがとうございました。

◎**4月30日（金）まで**に、本会まで郵送またはFAX、メールにて送付をお願いします。

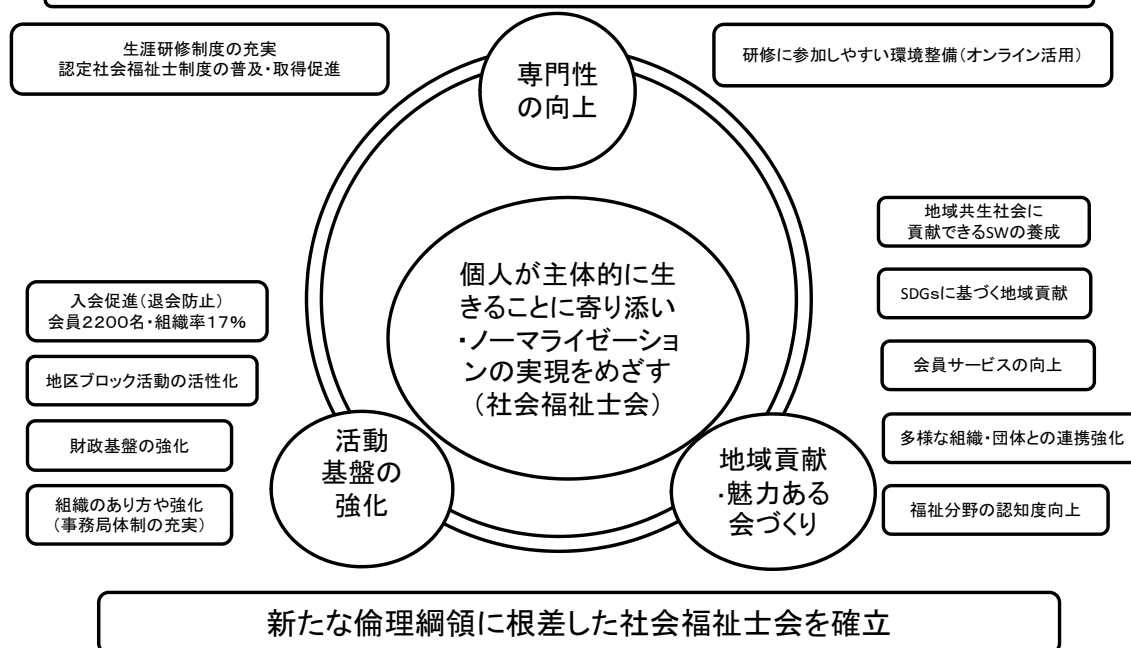
FAX（078-265-1340）

E-Mail：entry@hacsw.or.jp

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

個人が主体的に生きることに寄り添い・ノーマライゼーションの実現をめざす
～コロナを機にこれからの展望を描く～

2025年 兵庫県社会福祉士会の姿(ビジョン)



兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

個人が主体的に生きることに寄り添い・ノーマライゼーションの実現をめざす
～コロナを機にこれからの展望を描く～

1. ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点に基づく専門性の向上

- 生涯研修制度の充実
- 認定社会福祉士制度の普及及び取得促進
- 研修に参加しやすい環境整備

2. 地域貢献・魅力ある会づくり

- 地域共生社会に貢献できるSWの養成
- SDGs(持続可能な開発目標)に基づく地域貢献
- 会員のサービス向上
- 多様な組織・団体との連携強化
- 福祉分野の認知度向上

3. 活動基盤の強化

- 入会促進・退会防止
- 地区ブロック活動の活性化
- 財政基盤の強化
- 組織のあり方や強化

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

参 考 資 料

- 第1期中期計画の総括
- 第2期中期計画の趣旨・目的
- 会員・委員会等の意見による兵庫県社会福祉士会の課題における優先順位
- 会員アンケート(主な意見)
- ワークショップ(主な意見)
- 会員の状況(入会状況)
- 会員の状況(入会者数・退会者数)
- 財政状況(決算状況)

兵庫県社会福祉士会2020・第1期中期計画(総括) ～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～

1. 第1期中期計画(2016～2020年度)の総括

- 会員数は5年間で1396名から1774名へと増加(378名)したが、目標(2000名)には達しなかった。本会の課題を明らかにするとともに、魅力ある会づくりや会員サービスの向上等を通じて、入会者を増やすとともに、退会者を減らす取り組みを強化する必要。(組織率は15%を維持)
- 地区ブロックの活性化を図り、会員に身近な活動の場を提供するとともに、地域共生社会の実現やSDGs(持続可能な開発目標)に基づく活動を地域に展開していく必要。
- 本会が取り組むべき課題を整理したが、項目が多すぎたため、未着手の項目もあった。改めて重点的な課題を明確にして目標を立てていくことが必要。
- 専門性の向上のため、認証研修の拡充や、スーパービジョン体制の充実など認定社会福祉士の取得を支援していく取り組みや広報活動が重要。
- 認証研修以外の多様な専門的な研修を開発していく必要。
- オンラインによる研修を開発し、全国に向けて受講者を増やす取り組みやハイブリッド式の導入により、受講者の選択肢を増やす取り組みが有効。
- 居住支援、災害支援、権利擁護の推進など、地域貢献・社会貢献を通じて、県民・市民に信頼され、支持される会へ、さらに発展させていく必要。
- SNS等を活用して、本会の活動を積極的にPRしていく必要。
- 〆あなどな兵庫の活動強化や各委員会活動に参画する会員を増やし、時代に応じた専門性の高い活動を展開していく必要。
- 委託事業や収益事業、自主事業の増大に伴い、事務局体制の強化が必要。
- 新たな倫理綱領のもと、コロナを機に新たな本会の活動を展開していく必要。

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画 個人が主体的に生きることに関わり深い・ノーマライゼーションの実現をめざす ～コロナを機にこれからの展望を描く～

主旨・目的

- 兵庫県社会福祉士会は、1993年7月に結成し、今年28年目を迎えた。
- この間、2009年4月に一般社団法人格を取得するとともに、会員数も1770名を超える大きな組織へと発展、今日では17の委員会及び相談支援センター「こねっと兵庫」、生涯研修センター等を設置している。
- また、「まちかど相談会」や「ソーシャルワーカーデー」による広報・相談活動とともに各種研修、セミナー等を通じて地区ブロック活動を展開し、県民の福祉向上に寄与し、県民や行政等から本会への期待は年々高まってきている。

「兵庫県社会福祉士会・第1期中期計画」(2016～2020年)

- 本会の発展を中期的観点から取り組むため「兵庫県社会福祉士会・第2期中期計画」の策定(2021～2025年)に取り組む。

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画 個人が主体的に生きることに関わり深い・ノーマライゼーションの実現をめざす ～コロナを機にこれからの展望を描く～

2. 第2期中期計画(2021～2025年度)のビジョン

- 兵庫県社会福祉士会は、高齢者・障がい者・児童等のすべての人々が個人として主体的に生きることに関わり添うとともに、ノーマライゼーションの実現をめざす専門職団体として、県民・市民に信頼される職能団体を目指し、新たな倫理綱領のもと、ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点に基づく専門性の向上を図り、地域共生社会の実現とSDGs(持続可能な開発目標)に基づく活動を地域社会へ展開する。
- 新型コロナウイルスの感染拡大が社会へ深刻な影響を与えるなか、新たに生活困窮に陥る方々を支援するとともに、本会の活動基盤の強化を図り、コロナを機に時代に応じた本会の活動を目指す。
- このため、第1期中期計画(2016～2020年度)を総括するとともに、新たに第2期中期計画(2021～2025年度)を策定し、本会の活動を発展させる。

3. 第2期中期計画の目標

「個人が主体的に生きることに関わり深い・ノーマライゼーションの実現をめざす」

- ① ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点に基づく専門性の向上
- ② 地域貢献・魅力ある会づくり
- ③ 活動基盤の強化

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

会員アンケート(58名)

ワーキングショップ(15名)

理事会
理事・委員長会
組織力向上戦略会議



◎会員・委員会等の意見による兵庫県社会福祉士会の課題における優先順位

【第2期中期計画】

- ①社会福祉士の資質向上(55%)
- ②会員の増加・退会者の防止(36%)
- ③魅力ある会づくり(35%)
- ④地区ブロック活動の活性化(33%)
- ④人材の発掘(33%)
- ⑥地域貢献・社会貢献(29%)
- ⑦会員へのサービス向上(28%)
- ⑧災害支援(24%)
- ⑨財政基盤の強化(22%)
- ⑩組織のあり方・強化(21%)

【第1期中期計画】

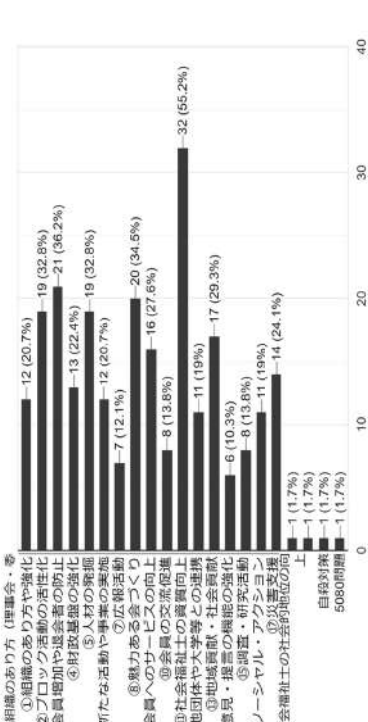
- ①社会福祉士の資質向上(52%)
- ②魅力ある会づくり(40%)
- ③会員の増加・退会者の防止(37%)
- ④地域貢献・社会貢献(35%)
- ⑤地区ブロック活動の活性化(31%)
- ⑥会員へのサービス向上(26%)
- ⑦組織のあり方・強化(24%)
- ⑧広報活動の充実(19%)
- ⑨事務局体制の強化(18%)

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

◎会員アンケート結果(58名複数回答) 2020年4月～8月実施

Q1: あなたが感じる兵庫県社会福祉士会が取り...した場合、具体的に書きください。(複数回答)

58件の回答



兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

◎会員アンケート(主な意見)58名

- 生涯研修制度の充実(児童や虐待、貧困、ひきこもり、自殺防止等各種研修)
- 地域共生社会を担うソーシャルワーカーの養成(人材育成、スーパービジョン)
- オンラインの積極的な活用
- 会員の増加で組織の活性化を図る、入会の促進を図る
- WITHコロナ時代に社会福祉士会が果たすべき役割を考える
- 地区ブロックの充実(権限・財源の移譲)
- 身近な場所で、カフェやミニ勉強会など気軽に集まる場所をつくる
- 社会的認知度・地位の向上
- 地域の課題を解決できるように組織化が必要、地域貢献(無料相談会)
- ソーシャルアクション、新たな活動や創造的な活動を行うべき
- 業務拡大や業務独占をめざすべき
- 災害支援の強化(兵庫県版DWAT、支援体制の構築、被災地支援募金)
- 広報の充実(イベント、駅やテレビ等)
- 会費の値下げ、入会のメリット(受講費の差別化、会員限定の研修等)
- 大学等との連携

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

◎ワーキングショップ(主な意見)15名・2020年9月16日・27日実施

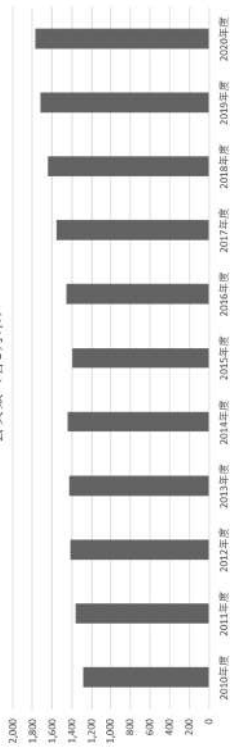
- 入会のハードルをいかに下げたか、若者世代の入会を増やせないか
- 会の活動や面白さが伝わっていないのではないかと
- 資格研修は魅力であるが、認定社会福祉士はつくられたが、目指す人が少ない
- 異業種の方やいろいろな方と出逢って話ができるのはメリットである
- 県域を越えて活動を広げていくべき
- 通信教育やリモート研修を充実させていくべき
- 福祉現場はストレスが大きい、ストレッチケアやコーチャングなど入り入れては
- 気軽に参加できる場がほしい(集い場の拡充、居場所づくり)
- 新型コロナウイルスの影響で気軽に集まるのが難しい(オンラインの活用)
- 公的な委員推薦は、社会福祉士会に入会しているから、安心して推薦できる
- 地区ブロックの活性化や会員サービスの向上を図るべき
- 人材の発掘や大学等との交流を図るべき
- SDGsへの活動が目標に入れるべき
- 新たな活動に取り組みべき(地域への専門職派遣や未成年後見等)
- 教育分野へのソーシャルワークの理解を深めていくべき(SSW)
- 様々な領域とのプラットフォーム機能が必要
- 災害支援を充実させるべき(兵庫県版DWATの創設、災害活動支援者の養成等)

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

会員の状況(入会状況)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
入会者数	128	156	123	78	116	117	133	153	153	136	87
退会者数	57	97	76	93	73	87	76	65	65	80	60
差額	71	59	47	-15	43	30	57	88	88	56	27
会員数(各3月末)	1,287	1,364	1,413	1,425	1,442	1,396	1,453	1,556	1,644	1,719	1,774

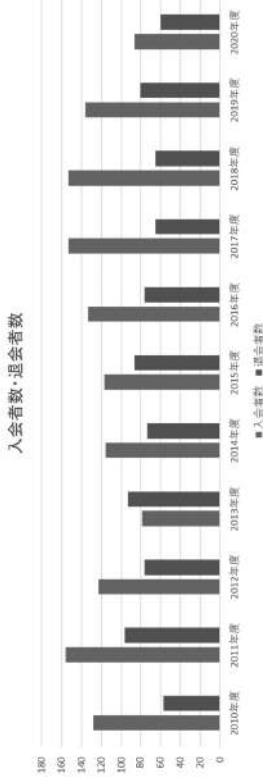
会員数(各3月末)



- 2010年度～2015年度で109人増加(年平均18人の増加)
- 2016年度～2020年度で378人増加(年平均76人の増加)
- 2016年度～2019年度は入会キャンペーン等を実施し、効果が認められる。

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

会員の状況(入会者数・退会者数)

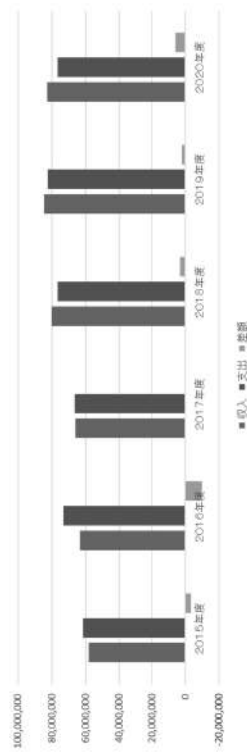


- 直近の5年間、入会者は増加傾向・退会者は減少傾向にある。
- 入会状況:2010年度～2015年度は78～156人(2011年度は156人)
2016年度～2019年度は133～153人(2020年度は87人)
- 退会状況:2010年度～2015年度は57～97人
2016年度～2020年度は65～80人(2020年度は60人・見込み)

兵庫県社会福祉士会2025・第2期中期計画

財政状況(決算状況)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度(補正)
収入	58,148	63,414	65,956	80,117	84,501
支出	61,479	73,193	66,239	76,772	82,455
差額	-3,331	-9,778	-283	3,345	2,046



- 2015年度～2017年度まで赤字(約1300万円)
- 2018年度～2020年度は黒字化(約1100万円)
- 財政の構造改革(事業費・管理費の削減と委託事業の拡大・会費等の見直し)

兵庫県社会福祉士会 第2期中期計画・具体計画(2021年度～2025年度)

基本指針	内容	事業項目	5年後(2025年)の目標	2020年度	2021年度(目標)
(1) 専門性の向上	生涯研修制度の充実	基礎研修制度の運営確立	オンライン化(eラーニング、ハイブリッド式)基礎研修修了生の増(各年度50名)OB会(第8期生)基礎研修講師・スタッフ(30名)スーパージニアへの確保(40名)スーパージニアへの支援(50名)スーパージニアへの支援(50名)グループバイザーの導入	eラーニングの活用、オンラインの活用基礎研修修了生(61名)OB会(第7期生)基礎研修講師・スタッフ(30名)24名25名スーパージニアII研修の開催	eラーニングの活用、オンラインの活用基礎研修修了生(50名)OB会(第8期生)基礎研修講師・スタッフ(30名)28名30名スーパージニアII研修の継続グループバイザーの検討
	認定社会福祉士制度の普及及び取得支援	認定社会福祉士制度の普及及び取得支援	認定社会福祉士制度のPR認定研修の拡充(医療・自殺防止)認定研修のオンライン化認定社会福祉士取得者の増(200名)	4分野(高齢・児童・地域・障害・災害)共通(スーパージニアII)認定社会福祉士(40名)認定研修(SVII)スーパージニアII連絡会	認定社会福祉士制度のPRの検討認定研修の検討(医療・自殺防止)オンライン化の検討
(2) 地域貢献・魅力ある会づくり	研修に参加しやすい環境整備	研修のオンライン化 研修メニューの充実 研修サポート体制の充実 身近な地区ブロックでの開催 地域共生社会を実現できる研修の構築 新カリキュラムに応じた実習のあり方	認定社会福祉士の更新支援 可能な研修はオンラインを導入 基礎研修以外の新たな研修の開発 このとりにミナールの充実 研修クーポンの発行 多様な研修、新たな研修メニューの検討 大学やリ教連との連携強化 実習指導者の質的向上(フォロアップ) 生活困窮者、ホームレス等の人への支援 新型コロナウイルスの影響を受けた人への支援 制度のほごまにある人への支援 ここねつと兵庫の相談拡充 なんでも相談会の継続 まちかど相談会の再開 虐待対応への支援(高齢者・障がい・児童) 権利擁護の推進(成年後見・未成年後見) 意思決定支援の普及・啓発 新たな地域貢献の検討(仮称:福祉テラス) 災害支援の充実(登録制度・兵庫県版DWTATの創設) 居住支援法人の活動強化	養成校との連絡会 実習教育支援委員会 生活困窮者支援委員会 更生支援委員会 ここねつと兵庫の相談なんでも相談会(月1回)まちかど相談会の中止 虐待対応委員会 未成年後見人養成研修 意思決定支援研修 災害支援委員会 居住支援活動の実施 基礎研修Iへの導入、広報	新たな研修プログラムの検討 養成校との連絡会 新たな実習プログラムの検討 実習教育支援者研修(再開)
	SDGsに基づく地域貢献	「貧困をなくそう」に対する貢献 「すべての人に健康と福祉を」に対する貢献	「住み続けられるまちづくりを」に対する貢献 会員特典の充実	eラーニングの活用(無償提供) 会員限定サービス(研修・イベント)の提供 会員同士の交流の場づくり 無料職業紹介事業の検討 支援者へのアドバイザー制度の検討 会員のためのよろず相談コーナーの検討 新入会者向け説明会の開催 オリジナルグッズの活用 法人会員制度の充実 会費割引制度の検討 長期入会者表彰(10年・20年・30年) 記念誌作成・記念行事・記念式典 ソーシャルワーカーの開催	ここねつと兵庫の相談なんでも相談会(月1回)まちかど相談会の再開 児童虐待の検討 未成年後見人養成研修の継続 意思決定支援研修の継続 新たな地域貢献の検討(仮称:福祉テラス) 登録制度、災害支援マニュアルの策定 居住支援活動の実施 eラーニングの活用の拡大 会員限定サービス(研修・イベント)の検討 交流会(納涼会、忘年会、懇親会) 無料職業紹介事業の検討 支援者へのアドバイザー制度の検討 会員のためのよろず相談コーナーの検討 はじめのいつぼりの再開 オリジナルグッズの検討 法人会員(5法人) 会費割引制度の検討 長期入会者表彰の検討 記念誌作成会議の継続
多様な組織・団体との連携強化	弁護士会・司法書士会等との連携 近畿ブロックとの連携 当事者組織との連携 他業種・多職種との連携	専門職団体との連携強化 近畿ブロック府県士会との連携強化 当事者組織への支援や連絡会 他業種・多職種との協働事業	認定社会福祉士会との連携 近畿ブロック府県士会との連携強化 当事者組織への支援や連絡会 他業種・多職種との協働事業	記念誌作成会議の開催 ソーシャルワーカー(中止) 代表者会議/5団体合同研修 行政書士会との協定 滋賀大会・バリアフリー展(中止)	記念誌作成会議の継続 ソーシャルワーカー(再開) 代表者会議/5団体合同研修 和歌山大会への協力・バリアフリー展

兵庫県社会福祉士会 第2期中期計画・具体計画(2021年度～2025年度)

基本指針	内容	事業項目	5年後(2025年)の目標	2020年度	2021年度(目標)
	<p>情報発信力の強化 福祉教育・人権啓蒙の推進 政策提言 調査研究活動の充実 ソーシャルアクションの展開 業務独占・業務拡大 会員数の増加 入会促進(年間140名以上)</p>	<p>SNS、ホームページ等を活用した情報発信 高校生・中学生へのアプローチ 政策提言等を行う仕組みの検討 調査研究活動の充実 意見書の発信や官公庁への働きかけ 議員懇談会等の実施 会員数2200名(組織率17%)を目指す 入会者の促進(年間140名以上) 入会促進キャンペーン 青年部会の組織化 合格者へのアプローチ 退会者の防止(年間60名未満) 助成額の増額</p>	<p>2020年度 広報紙(中止) 県への予算要望 実践報告会の開催 意見書の提出 会員数1774名(組織率15%) 入会者数(86名) 入会促進キャンペーン(中止) 合格祝賀会(中止) 退会者(60名)見込み</p>	<p>2021年度(目標) 広報紙の発行(再開) 高校生・中学生へのアプローチの検討 提言等を行う仕組みの検討 実践報告会の開催 議員懇談会等の検討 会員数(1850名) 入会促進キャンペーン(再開) 青年部会の検討 新たな方策の検討(食事以外) 退会者(60名未満)</p>	
	<p>入会促進(退会者の防止)</p>	<p>退会防止策(年間60名未満) 新入会員の見直し 新入会員への支援 地域での顔の見える関係づくり 地区ブロック同士の研修・交流促進 新たな活動の展開</p>	<p>集い場(再開) 兵庫社会福祉セミナー(神戸)</p>	<p>新入会員向けのイベント(説明会、歓迎会)の検討 集い場(再開) 兵庫社会福祉セミナー(神戸)</p>	
<p>(3) 活動基盤の強化</p>	<p>地区ブロックの活性化</p>	<p>新入会員向けのイベント(説明会、歓迎会) 集い場の拡大 兵庫社会福祉セミナーや合同研修等の開催 地域に関する事業委託(県) 高齢者・障害者虐待に関する研修委託(県・市) 医療的ケア児に関する研修委託(県) 相談事業の委託(JR) 障害者差別解消相談センターへの派遣(県) 新たな委託事業の拡大(人材派遣等の検討) 国家試験対策講座の充実 大学等での対策講座(5ヶ所) 自主ゼミの拡大(地区ブロックの拡大) オンラインの活用(オンライン研修等の推進) 人材バンクの設置(登録制度、講師派遣等) オンラインの活用(オンライン会議等の推進)</p>	<p>防災に関する事業委託(県) 地域包括に関する研修委託(県) 高齢者・障害者虐待に関する研修委託(県・市) 医療的ケア児に関する研修委託(県) 相談事業の委託(JR) 障害者差別解消相談センターへの派遣(県) 新たな委託事業の拡大(人材派遣等の検討) 国家試験対策のオンライン化 対策講座の拡大(3ヶ所) 自主ゼミ(阪神ブロック) オンラインの活用(オンライン研修等の推進) オンラインの活用(オンライン会議等の推進)</p>	<p>防災に関する事業委託(県) 地域包括に関する研修委託(県) 高齢者・障害者虐待に関する研修委託(県・市) 医療的ケア児に関する研修委託(県) 相談事業の委託(JR) 障害者差別解消相談センターへの派遣(県) 新たな委託事業の拡大(人材派遣等の検討) 国家試験対策のオンライン化 対策講座の拡大(3ヶ所) 自主ゼミ(阪神ブロック+他)の拡大 オンラインの活用(オンライン研修等の推進) 人材バンクの検討 オンラインの活用(オンライン会議等の推進)</p>	
	<p>財政基盤の強化</p>	<p>収益事業の拡大 自主事業の拡大</p>	<p>ICT活用によるコスト削減 事務体制の充実</p>	<p>顧問弁護士の配置 代議員制度の検討 委員会の参加者数の増(のべ370名) 540名 公益社団法人化の検討</p>	
	<p>組織のあり方や強化</p>	<p>新たな組織のあり方の検討 各委員会活動の充実(会員の2割) はあとなど兵庫の強化 公益性の向上</p>	<p>委員会の参加者数の増(のべ340名) 500名</p>	<p>委員会の参加者数の増(のべ370名) 540名 公益社団法人化の検討</p>	

委員会活動を見学してみませんか?

委員会活動の様子を見てみませんか?新たな仲間と出会えるチャンスです♪参加資格は、「興味・関心がある」でOK!どなたでも参加いただけます。

下記、見学申込書に必要事項を記入の上、兵庫県社会福祉士会事務局までメールまたはFAXでお申し込みください。



兵庫県社会福祉士会事務局 行き
FAX 078-265-1340 E-mail entry@hacsw.or.jp

委員会見学申込書

研修委員会	子ども家庭支援委員会
調査研究委員会	実習教育支援委員会
国家試験対策委員会	独立型社会福祉士支援委員会
広報委員会	障がい福祉委員会
相談委員会	更生支援委員会
ソーシャルワーク研究委員会	地域移行支援委員会
高齢者・障害者虐待対応委員会 <small>※委員会参加には要件があります</small>	生活困窮者支援委員会
	災害支援委員会
地域包括支援センター支援委員会	

見学を希望する委員会に○を付けてください(複数選択OK!)

ふりがな	会 員 番 号	
氏 名		
電 話 番 号 <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先	※ 日中連絡のつく番号	
メールアドレス <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先		
勤務先(任意)		
備 考		

後日、委員会担当者から直接ご案内いたします。

お問い合わせ先

兵庫県社会福祉士会事務局 TEL 078-265-1330

兵庫県社会福祉士会事務局 宛

受付 No.

FAX 078-265-1340 E-mail : entry@hacsw.or.jp

..... 研修会 参加申込書

記入日 月 日

開催日	年 月 日 ()
研修名	

※必ず、おひとりさま1枚ずつご記入ください。

ふりがな	
氏名	
入会の有無	<input type="checkbox"/> 会員 (No.) <input type="checkbox"/> 県外会員 (No. , 都道府県) <input type="checkbox"/> 非会員 (社会福祉士) <input type="checkbox"/> 一般
住所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	〒 TEL FAX 携帯電話 E-mail
勤務先名	
職種	
懇親会	<p style="text-align: center;">参加 ・ 不参加</p> <small>※開催案内に懇親会開催の記載がある場合のみ記載してください。</small>
備考欄	<small>その他、受講に際して必要な配慮、開催案内に記載のある特記事項などについて具体的に記入してください。</small>

【注意事項】

- ※ 定員を超える申込があり、参加いただけない場合のみ、事務局よりご連絡いたします。
- ※ メールでお申し込みされる場合は、entry@hacsw.or.jp 宛に送信してください。
- 件名には必ず開催日及び研修名を入力し、メール本文に上記必要事項を入力してください。

<p>【お問い合わせ】</p> <p>一般社団法人兵庫県社会福祉士会事務局</p> <p>〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター5F</p> <p>TEL : 078-265-1330 FAX : 078-265-1340 E-mail : entry@hacsw.or.jp</p>

都道府県社会福祉士会 入退会・変更届

年 月 日

会員番号		氏名	
------	--	----	--

1. 所属社会福祉士会の変更 退会→入会 (所属の変更のみ)

※規約により所属社会福祉士会は住所または勤務先所在の都道府県となります。

私は	旧 所属	社会福祉士会を退会し	新 所属	社会福祉士会に入会します

2. 氏名の変更

ふりがな		ふりがな	
旧氏名		新氏名	

3. 住所等の変更 (年 月 日変更)

旧住所	〒		
ふりがな			
新住所	〒 (アパート・マンション名もご記入ください)		
電話番号	FAX番号		
	E-mail		

4. 勤務先等の変更

勤務先名称			
勤務先種別		職 種	
所在地	〒		
電話番号	FAX番号		
	E-mail		

5. 年会費引落とし口座の変更

<input type="checkbox"/>	変更しません	<input type="checkbox"/>	銀行口座に変更します	<input type="checkbox"/>	郵便口座に変更します
--------------------------	--------	--------------------------	------------	--------------------------	------------

※変更される方には所定の用紙をお送りします。

事務局情報

会 員 数

正会員1,762名（2021年2月末現在）
みなさんの周りにいる社会福祉士の方に入会をお誘いください。

転居、または転職や異動などにより職場が変わった場合は、住所変更届を必ず事務局へ提出して下さい。

※このとり通信は、メール便にて発送しています。郵便局への転居届では転送されませんので、本会事務局までご連絡ください。

理事会報告

第6回理事会（オンライン）
開催日時：2020年12月20日 13：00～16：00
出席理事：谷口、中山、薄木、榎本、近藤、西垣、宮崎、山下、溝田、中原、福本、岸、中川、西池、岡

- 出席監事：塩尻
<審議事項>
○2021年度事業計画（案）及び予算（案）について
○社会福祉士の行動規範（案）について
○委員長の交代について
 広報委員会
 旧委員長）胡中 智礼 → 新委員長）森保 純子
<報告事項>
○2021年度日本社会福祉士会 理事改選について
○県等からの受託事業について

第7回理事会（オンライン）
開催日時：2021年1月16日 10：00～12：00
出席理事：谷口、伊東、奥住、薄木、近藤、西垣、宮崎、山下、溝田、福本、岸、西池

- 出席監事：塩尻
<審議事項>
○2021年度事業計画（案）及び予算（案）について
○新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言（1月13日）を踏まえた活動方針について（5）について
○兵庫県社会福祉士会第1期中期計画（総括）及び30周年記念誌作成について
<報告事項>
○第23回 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 定例総会（予算）総会について
○兵庫社会福祉セミナー in 神戸について

第8回理事会（オンライン）
開催日時：2021年2月20日 13：00～15：30
出席理事：谷口、中山、伊東、奥住、薄木、榎本、近藤、西垣、宮崎、山下、溝田、中原、福本、岸、西池

- 出席監事：塩尻
<審議事項>
○兵庫社会福祉セミナー in 神戸について
○兵庫県社会福祉士会第2期中期計画（案）について
○ソーシャルワーカーデー2021について
<報告事項>
○日本社会福祉士会関連について
○受託事業について

協議事項等がありましたら、各理事又は事務局へご連絡ください。

事務局連絡先

【事務局】
一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
〒651-0062
神戸市中央区坂口通2-1-1
兵庫県福祉センター5階
電話：078-265-1330
FAX：078-265-1340

【事務局員】
事務局長 西野 佳名子
事務局員 中村 智穂美
事務局員 北野 和香子
事務局員 胡中 智礼
事務局員 加戸 陽子
事務局員 一番合戦 桂子
事務局員 笹岡 久美
事務局員 萩原 美千紘

【事務局メールアドレス】
syadanhyogo@hacsw.or.jp

【ぱあとなあ兵庫事務局】
電話：078-222-8107
partner-jimu@hacsw.or.jp

【研修申込専用メールアドレス】
entry@hacsw.or.jp

